

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

2014 年度学校評価報告書



2015 年 3 月



## 目 次

1	本校の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 沿革	
	(2) 教育理念	
	(3) 中期的目標	
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策・・	3
	重点目標①・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(1) 取組計画及び内容	
	(2) 自己評価	
	(3) 今後の改善方策	
	重点目標②・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	(1) 取組計画及び内容	
	(2) 自己評価	
	(3) 今後の改善方策	
3	アンケートの実施状況について・・・・・・・・	8
4	アンケート結果の分析について・・・・・・・・	9
	(1) 教員対象 学校評価	
	(2) 保護者対象・生徒対象 学校評価	
5	関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会 まとめ・・・・・・・・	16
	関西大学 学長補佐 青田浩幸 (化学生命工学部教授)	
6	「学校評価(自己点検・評価)」報告書に対する意見書・・・・・・・・	18
	関西大学北陽高等学校・中学校 校長 鈴木清士	
7	アンケート結果・・・・・・・・	19



## 2014年度 関西大学北陽高等学校・中学校 学校評価（自己評価）分析

関西大学北陽高等学校・中学校  
自己点検・評価委員会

### 1 本校の概要

#### (1) 沿革

- ① 1922年6月5日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから3年後の1925年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身であり、北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1946年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2015年の4月には関西大学北陽高等学校第8期生、関西大学北陽中学校第7期生の入学式が行われる。

#### (2) 教育理念

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

② 徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者と共に生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

(3) 中期的目標

本校では、「関大北陽の中期ビジョン（2011年～2015年）」を2011年の4月に策定した。この中期ビジョンは、次の3つの柱から成り立っている。

ア 「教育と研修のビジョン」：教育施策の検討、教育環境の整備、教員の教育力向上策

イ 「学校運営のビジョン」：学校運営の組織化、会議の効率化、職場環境づくり

ウ 「募集戦略のビジョン」：対象別説明会の検討、PR戦略の見直し

ア～ウの各ビジョンに基づいた具体的な中期目標を、以下に掲げることにする。

なお、※は次の項目の本年度における「重点目標」とリンクしている。

【アの中期的目標】

① すべての教科で「自ら考え判断する」力を培う。

※② 学習指導プロジェクトのもと、子どもたちに学習習慣をつけさせ、学習へのモチベーションを高め、学力の伸長を図る。

③ 地域貢献の一環として教員と生徒が一体となってボランティア活動（町内清掃）を行う。

④ 学内における研修を充実させ、教員個人の学外研修を奨励する。授業評価も行い、教育力の向上を図っていく。

【イの中期的目標】

① 学校運営の組織化を進める。学年が一つのまとまりをもちつつ、かつ全員が分掌の意識を持ちながら、学年と分掌が連携をとれるようにする。

※② 学年・分掌・教科の各主任によるミドルマネジメントの機能強化を図る。

③ 世話人制度を設けて、若い教員が安心して職務を遂行できる環境づくりをする。

【ウの中期的目標】（今年度の重点目標とはしていない。）

① 「女子戦略」を立てる。高校入試において、女子の受験生、入学者を確保できるよう

な施策を検討する。

- ② 学校見学会、オープンキャンパスなどにおいて、受験生の満足度を上げる施策を検討する。

## 2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

### 重点目標①

理数及び英語における学力の底辺層の底上げをはかる。また理数教育において本校の特色を図る取組を推進させる。

#### (1) 取組計画及び内容

本校は、2011年度に「子どもたちに学習習慣をつけさせ、学習へのモチベーションを高め、学力の伸長を図る」ことを検討し推進させていく「学習指導プロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトでの取組により、コースによって差はあるものの、生徒の学習意欲は緩やかであるが、年々高まりつつあると感じられる。ただし、学力の数値的な確かな伸びとしては見えてきてはいない。昨年度の外部評価委員からのご指摘は次のとおりである。

- ・内部進学に関し、理系はやや不振の結果が出たようである。
- ・スローラーナー指導方針の発信方策に加えて、理科における学力向上のための改善方策も早急に検討する必要がある。
- ・「スローラーナーへの対応」では教員、保護者・生徒のすべてで評価が低下した。また「学力向上への組織的な取組」でも評価は横ばい、低下している。

以上のご指摘を踏まえ、改めて学力の中身を分析してみると、理数以上に深刻なのは英語の伸び悩みであり、学力の底辺層すなわちスローラーナーが拡大しつつあるということがわかった。

そこで、本年は学習指導プロジェクトのもとに、「英語力向上プロジェクト」と「理数教育プロジェクト」の2つを立ち上げることにした。後者は、単に理数の底上げを図るだけでなく、特色ある理数のプログラムを積極的に実施することによって、併設校間での差異化を図るという狙いがある。

#### ○ 英語力向上プロジェクト

##### 目的及び到達目標（指標）

座長を英語科主任として、プロジェクト・メンバーは主任を含めた英語科4名の教員によって、以下の到達目標を立てた。

- ① 生徒の英語に対するモチベーションを高める授業を展開する。
- ② 英語の学習習慣をつけさせ、基礎学力を培う。
- ③ 中学校では英検の取得、五ツ木の偏差値、学力推移テストの数値目標をたてる。

- ④ 高校では英検の取得、1・2年生においては進研模試、3年生については外部模試の偏差値の数値目標をたてる。

## ○ 理数教育プロジェクト

### 目的及び到達目標（指標）

座長を理科主任として、プロジェクト・メンバーは主任を含めた理科3名、数学科1名の教員によって、以下の到達目標を立てた。

- ① 高校における「サイエンス・パートナーシップ・プログラム（以下、「SPP」という。）」（（独）科学技術振興機構）を年々充実させていく。
- 理科、数学（及び情報）において年間3つのSPPを同時展開できることを目標とする。生徒たちの理数に対するモチベーションを高め、同時に理数科教師の教育力を高めていく。
- ② 中高における「中高生の科学部振興プログラム」（（独）科学技術振興機構）をさらに充実させる。
- 関西大学と提携し、理数におけるエリートを養成する。中高大一貫教育のモデルを模索しながら、将来的には中高大一貫教育のカリキュラム策定へ展開する。
- ③ 他の併設校との差異化を図るために、職場の組織作り、人間関係作りを図りながら「多くの教員の力が一つに結集できる基盤ができれば、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に着手する」というビジョンを持ち、その方向性を見失わないようにする。それまでは、①～②を地道に積み上げていく。

## （2）自己評価

### ア 「英語力向上プロジェクト」について

他教員が担当する授業・講習の質や枠組みを維持するサポートを行ない、生徒の学力の向上に努めた。高2特進コースの公開授業では、英語を内在化させる活動実践として音読やシャドーイング<sup>1</sup>、ディクトグロス<sup>2</sup>を教科に提示し、生徒のモチベーション向上のきっかけづくりができた。

高1・2年特進コースにおいて、学習習慣の形成と基礎学力の向上を念頭に、英単語テストの効果的な方法を検討し、実施することができた。高1特進コースのコミュニケーション英語Ⅰについて、①単語の学習、②速読トレーニング（またはリスニング）、③テキストの学習の3部構成となる授業モデルを検討し、それに基づいて授業を行った。

---

<sup>1</sup> 提示された音声を、タイミングを少し遅らせて、そのまま口頭で再生するタスク

<sup>2</sup> 一定量のインプットを繰り返し聴き、その内容をメモする。その後、個人、ペア、またはグループで、もとのインプット内容を再現するタスク

中高の英検・模擬試験については、従来の数値目標を見直し、また、目標がなかった項目は、新たに数値目標を検討した。その概要を次に掲げる。

中学…卒業時の英検目標級を3級とした。学力推移偏差値の目標は、各回 SS45～47、中3時に2回受験する五ツ木模試の偏差値目標は、SS51～53に定めた。

高校…英検の目標は学年・コースごとで定めた。例えば、高2終了時、特進アドバンスコースの準2級合格率は100%、2級以上は50%とした。特進・文理コースでは、準2級85%、2級以上は5%である。進研模試1月の目標偏差値は、1・2年時とも52.0、高3時の外部模試目標偏差値については、難易度が一定でないため、第1回47～55、第2回47～53、第3回47～53と幅をもたせた。

内部進学を念頭に置いた3年間のカリキュラムの原案、次年度の教材・シラバス、英検・GTEC実施のあり方、ALT（アシスタント・ティーチング・ティーチャー）とのチームティーチング内容などについても検討し、次年度以降に反映させて行く方向である。

#### イ 「理数教育プロジェクト」について

2つの特色あるプログラムを成功させた。

1つ目は、SPPの取組で、2年連続の採択が決まった。今年は2年の理系生徒対象に「サンゴが見る光」というテーマで観察実験が行われ、その取組の延長として沖縄の修学旅行において「八重山の環境保全」というテーマで環境学習が行われた。この環境学習に触れた生徒による八重山諸島の環境保全の募金活動を展開し、石垣島に寄付をした、ということで地元新聞に取り上げられた。

2つ目は、科学部の取組で、科学部振興プログラムに採択されて2年目になる。今年度は、「ウミガメの産卵観察会」、「コウノトリの保護活動調査」を実施し、その結果をサイエンス・キャッスルにおいてポスター発表を行った。科学の祭典大阪大会では、身近な材料を用いての化学実験体験により、「関西フォーラム賞」を受賞し、これがきっかけで韓国での科学の祭典においても貴重な発表の機会を得ることができた。

さらに、WRO（自律型ロボットによる国際的なロボットコンテスト）大阪大会ベーシック部門に初めて参加し、レゴマインドストームを取り入れた活動にもチャレンジした。その他、本プログラムの連携先である関西大学と年間10回にわたる連携プログラムの実施、地元の小学生を招いての年間3回にわたる実験教室などを実施した。

なお、「理数教育プロジェクト」の範疇外の活動ではあるが、今年度の新しい取組として、理科の教員とネイティブの教員（いずれも科学部の顧問）のチームティーチングによる「理科教育と英語教育のコラボレーションプログラム」を展開した。ここでは授業の発表会（テーマごとに班に分かれ、その実験観察の模様をすべて英語でプレゼンをする）も行われ、関西大学から3人の先生のご参加があり、終了後に講評と

アドバイスをいただくことができた。

このような多面的な活動実績を積み重ねていくことにより、将来的に SSH の実現という方向も見えてくるのではないかと考えている。

### (3) 今後の改善方策

#### ア 「英語力向上プロジェクト」について

教員の英語教育力を向上させるために、関西大学外国語学部に協力をお願いし、2015年度から外国語学部の先生に「英語教育アドバイザー」として月2回程度、本校に来ていただき、助言、指導を仰ぐ。目標と計画は以下のとおりである。

(目標)

- ① 基礎・基本の定着と「読む」「書く」だけでなく「聞く」「話す」という実践的な英語教育を目指し、楽しく学べる授業を構築する。
- ② 英語科として、基本的な教授法を共有し、英語教育のベースをつくる。この取組が、北陽の英語教育の根幹をなすものとして成果をあげる。

(計画)

- 1年目：現状の課題の洗い出しと授業計画（シラバス）、教材、教授法の見直し
- 2年目：1年目の助言に基づいた授業計画の実践
- 3年目：2年目の取組に対する改善

#### イ 「理数教育プロジェクト」について

2015年度からはSPPが廃止となり、その代替として「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」が新設される予定である。これについても採択されるように本プロジェクトで取組を進めているところである。

#### 重点目標②

組織運営の活性化を図るために、昨年に続いて次の3つのプランを継続する。

- 1 主任と呼ばれる教員のミドルマネジメントの機能を強化する。
- 2 若い教員にとって安心の職場であるための「世話人制度」を推進する。
- 3 「教員評価制度」を管理職と教員との信頼関係を形成するツールとして使う。

### (1) 取組計画及び内容

2014年度は、今後の北陽の組織運営の活性化に関わる「ミドルマネジメントの機能強化」、「世話人制度」、「教員評価制度」の3つの制度を継続していく。具体的な計画を列挙する。

## ア 「ミドルマネジメント」の徹底強化を図る。

- (ア) 学年主任、分掌主任、教科主任のミドルダウン（運営委員会あるいは学習指導プロジェクト、教科主任会議で決まった事項の、関係部署への速やかな伝達）とミドルアップ（関係部署の先生方の意見の吸い上げと管理職への意見具申）をさらに強化する。
- (イ) 分掌の主任に対し、構成メンバーそれぞれに役割分担が明確にされているか、役割分担が有効かつスムーズに行われているか、主任や特定の先生に任せきりになっていないか、についてのヒアリングを行う。
- (ウ) ミドルを育てるために、各種会議はその主任に任せるシステムを構築する。管理職は出ないで、主任に任せる。その代わりに報・連・相を徹底させる。会議の書記は学年チーフが行うなど、輪番制とする。
- (エ) 学校評価において「会議の有効性」が非常に低い数値になっている。  
運営委員会において、従来、学年会議や分掌の会議の報告は行っていなかったが、その報告を今年度からは行うこととする。

## イ 「世話人制度」を機能させる。

そのために「お世話をする」先生とも、「お世話をされる」先生とも、双方向からヒアリングを行い、コミュニケーションを図る。

若い先生方の不安を軽減し、職場における人間関係の安定と改善をはかる、という主旨でこの「世話人制度」をつくった。若い先生方が安心して職場に勤務し、業務に専念して頂くために、お世話役の先生をつけて、クラス経営、教科指導、学校行事その他日常的なことは何でも相談ができるというシステムにした。

## ウ 「評価制度」を利用し、一人ひとりの先生方との面談を通して、目標設定から目標実現まで、アドバイスと評価を伝えていく。

本学園の併設校である中等部・高等部とともに昨年「評価制度」を導入した。この制度をうまく利用し、一人ひとりの先生方の目標設定と目標実現に向けて、管理職と上手にコミュニケーションをとっていきたい。

## (2) 自己評価

### 【概括的な分析】

教員が「北陽」を組織として見た場合、「学校運営が組織として十分に機能していない、教員間の連携が弱い」などのように、組織としての評価は極めて低い。ところが一方で、教員が個人として自己評価した場合には極めて高く、組織と個人の乖離が大きいというのが本校の自己評価の最近の特徴であった。

その傾向は基本的には今年も変わらない。そうした意味では組織運営としてはまだ不

十分である、ともいえる。ただ、種々の方策によってその乖離は年々少しずつではあるが着実に解消されてきており、改善の方向に向かっている。

「組織」と「個人」の平均値の差

2011年：0.46      2012年：0.38      2013年：0.38      2014年：0.35

### 【「教員間連携」の分析】

全体的には低い数字であるが、すべての項目で昨年から上昇した。

管理職と教員、教員間の連携	1.94	→	2.20
ミドルマネジメントの組織運営	2.10	→	2.39
会議の有効性	2.28	→	2.54

上昇に向かった要因は以下の3点だと考える。

- ① 学校が組織として動くためには、まず学年単位で学校運営ができることが最優先課題と捉えて次のような方策を実行した。
  - ・ 「分掌中心の山」から「学年の山」への移行。
  - ・ 職員朝礼時の「学年ミーティング」のスムーズな開催。
  - ・ 3つの校務分掌で「学年チーフ」の設置。
- ② 学年主任、分掌主任を「ミドルマネージャー」として、様々な意見や考えを吸い上げ、管理職に意見具申をするというミドルマネジメントの必要性を全教員に周知していた。
- ③ 昨年導入した「世話人制度」を、今年も継続させ、若い教員にとって安心のできる環境づくりに努めた。

### (3) 今後の改善方策

- ① 今後も学年単位で学校運営ができることを最優先課題と捉え、現在取り組んでいることを継続し、組織化を進めていく。
- ② 分掌、係の役割分担において、毎年、同じ教員にチーフを割り当てるのではなく、多くの教員に経験を積むことのできる組織づくりを行い、人材を育成する。
- ③ 学校法人関西大学「長期行動計画」における「併設校の教育改革」に基づいて、本校の学校教育計画を示し、教員一人ひとりが主体的に目標を掲げ、その目標達成に向けて努力する体制をつくる。そのことにより、教育ビジョンの共有化をはかり、管理職と教員の連携を強めていく。

## 3 アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑥の観点で併設校が共通に学校評価を行うことが提案され、

了承された。

- ① 「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。今年度は「いじめの対応」を新たに加えて共通項目を15項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。

なお、今年度は本校の独自項目（組織）に「ハラスメントの研修」を加えた。

- ② 「保護者対象」及び「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ13項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③ 上記の3種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクするように工夫を行った。
- ④ 「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーと呼ばれる人たちに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

⑤ 実施日程

I 教員対象学校評価

「個人」及び「組織」 1月14日（水）～1月21日（水）

II 保護者対象学校評価

高校3年 1月21日（水）～2月4日（水）

高校1・2年及び中学校 1月28日（水）～2月4日（水）

III 生徒対象

高校3年 1月21日（水）登校日にて

高校1・2年及び中学校 1月28日（水）LHR（ロングホームルーム）にて

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめた。それをもとに、2月中旬に評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見を「自己点検・評価委員による分析」にまとめた。

最終的には、そのまとめの資料を使って、運営委員会において意見交流を行ない、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

## 4 アンケート結果の分析について

### （1）教員対象 学校評価

#### ① 学校運営の分析

「教員間の連携」の項目については、重点目標として掲げ、前述の2で分析しているので、その他の項目について述べることにする。

#### ア 教育方針・教育目標について

「教育方針・教育目標がよく浸透しているか」という項目の評価は、組織 2.43、

個人 2.85 と昨年同様、低い値であった。学校教育計画を教員に浸透させるとともに教員評価制度におけるヒアリングにおいて、先生方の意見を吸い上げ、教育ビジョンの共有化を図っていく。また、この点については、会議の有効性の評価ともリンクしていると考えられ、活発な議論ができる場を醸成していきたい。

#### イ 避難訓練や安全対策について

「警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている」という項目の評価は、昨年に比べやや低下し、2.98、A・B回答 76.4%であった。今後も、継続的に避難訓練や安全対策を行っていく。

### ② 教育内容（知徳体）の分析

「教育内容の知育」の項目については、重点目標として掲げ、前述の2で分析しているので、その他の項目について述べることにする。

#### ア 徳育

「社会規範の理解とモラルの醸成」についての評価が、組織 2.83、個人 3.28 と、乖離が見られる。来年度は、学年生徒指導部の役割を見直し、学年団との連携を強めていく。また、今年度の新しい項目である「いじめへの対応」については、組織 2.74、A・B回答 61%となった。「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの早期発見に努めているが、組織としての対応は、まだ不十分な評価結果となっており、人権教育部の意見も聞きながら組織的に対応していく。

#### イ 体育

昨年に比べやや低下したが、組織 3.08 個人 3.14 と高い評価であった。今後も、基本的な生活習慣や基礎体力づくりが、学校生活の基本であることを教員に周知し、学校全体で生徒に関わっていききたい。

### ③ 生徒指導・生徒支援の分析

部活動支援状況 (組織) 2.77 → 2.83 (個人) 3.04 → 3.01

学校行事指導体制 (組織) 2.93 → 3.06 (個人) 3.13 → 3.03

上記の項目のほか、生徒指導・進路指導についても、組織としては昨年に比べ評価が上昇しているが、個人の評価は、低下している。組織としては、毎年、改善していると感じている一方、個人としてはまだ十分な貢献ができていない、という反省やジレンマを持った教員がいるのではないだろうか。

### ④ 学校生活の分析

「本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる」という項目においては、評価が 2.91、A・B回答 79.2%と教員の 80%近くが肯定的に考えている。ただ、否定的に考

えている教員が、20%で、その中で「そう思わない」とD回答をしている教員が4.2%いる。この点については、教員とのヒアリングなどを通じて、学校の問題点を把握し、組織として改善していく必要がある。

## (2) 保護者対象・生徒対象 学校評価

### 【高等学校】

#### ① 学校運営の分析

保護者対象アンケートでは「教育方針・教育目標を理解されていますか」という項目で、昨年同様、評価が3.05と高く、A・B回答も83.2%と高くなっている。入試説明会や入学後の進路説明会、学級懇談会などでの確に本校の教育方針、教育目標を伝えていることが伺われる。

一方、生徒対象アンケートでは、過去3年間、2.76→2.64→2.60と少しずつ下降している。始業式や終業式、学年集会、進路説明会などで、生徒に周知していく。

#### ② 教育内容（知徳体）の分析

##### ア 知育

「学力向上における組織的な取組」に関しては、過去3年間、保護者の評価が2.9、生徒2.7とほとんど変化がない。「スローラーナーへの対応」に関しては、過去3年間、2.7と変わっていないが、生徒は、昨年2.69から2.76に上昇した。スローラーナーに対しては、次のような取組を行っている。

- (ア) 高3の夏休み（約10日間）、冬休み（約10日間）、1月中旬から1月末に、成績下位者を対象に、文系で英語・国語の講習、理系で英語・数学・理科の講習
- (イ) 高3の3学期、関西大学への内部進学者を対象に入学前教育
- (ウ) 高2の特進コース、英語の授業で習熟度別授業
- (エ) 高1・高2の特進コース、定期試験後、成績不振者に対して補習

以上の（ア）～（エ）を学校として取り組むとともに、各教科担当が单元ごとに小テスト、到達度の低い生徒には再テストを随時実施している。このような取組が生徒に浸透し評価が上昇したと考えられる。

##### イ 徳育

保護者・生徒とも過去3年間、保護者3.2、生徒2.9と、ほとんど変わっていないが、保護者においては、高い評価を受けている。本校では、始業式や終業式、学年集会、LHR（ロング・ホーム・ルーム）など、いろいろな機会でも、学校や社会のルールを遵守することの重要性を話し、人権教育や生活指導の講演を通してマナーやモラルの向上に取り組んでいる。生活指導において、教員個人の指導に頼るこ

となく、生徒指導部を中心に、組織的な取組を行い、生徒の評価を高めていきたい。

#### ウ 体育

健康な身体づくり（保護者：3.16→3.21→3.21 生徒：2.90→3.03→3.08）

「基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を受けていますか」という質問に対して、保護者、生徒とも、過去3年間、徐々に上昇しており、高い評価を受けている。身体づくり、基礎体力づくりについては、保健体育科が生徒の能力に応じたカリキュラムを作成し、担当者間で指導法を統一している。また、担任と生徒指導部が連携し、遅刻・早退・欠席を少なくするなど基本的な生活習慣の確立に努めている。

### ③ 生徒指導・生徒支援の分析

#### ア 生徒指導

「指導方針の一貫性」の項目については、保護者の評価が3.05、生徒の評価が2.95と高い評価を受けている。特に、保護者においては、A・B回答が80.6%となっている。この結果から、保護者・生徒は、生徒指導が学校として明確な方針のもと行われていると概ね理解し、教員も個々の生徒に対してしっかりと指導管理を行っていると感じることができる。「家庭との連携状況」の項目については、保護者・生徒とも評価2.8となっており、今後、さらに家庭との連携を密にする必要がある。

#### イ 進路指導

進路指導（保護者：2.82→2.83→2.86 生徒：2.84→2.84→2.87）

保護者・生徒とも、過去3年間、少しずつではあるが、評価は上昇している。関西大学への内部推薦入試において、指導方法が確立しつつあり、組織的に進路指導を行える体制が徐々に作り出されている。このことは、今年度の内部進学率が過去最高の71%となったことにつながっている。

#### ウ 生徒会活動

部活動支援（保護者：2.99→3.05→3.09 生徒：2.86→2.98→3.02）

学校行事指導（保護者：3.08→3.11→3.13 生徒：2.99→3.11→3.14）

保護者・生徒とも、過去3年間、評価は上昇を続けており、高い評価を受けている。部活動においては、献身的なクラブ顧問の指導と、総合体育館と人工芝グラウンドの完成という施設の充実が理由としてあげられる。学校行事においては、2011年度からクラス役員に役割を与え、教員のサポートのもと生徒が主体的に取り組む体制を取っている。その中でも、体育祭の評価は高く、学年、クラスの枠を超えて協力し、練習を積み重ねて披露する応援合戦は、生徒・保護者の胸を打つものと

なっている。また、文化祭の前日に行われるプレフェスティバルの舞台演技についても、希望するクラスが多く、クラス全員が何らかの形で関わり、舞台完成度は、年々高まっている。このようなことから、高い評価につながっている。

#### ④ 学校生活の分析

保護者については、満足度の項目は、過去3年間3.3～3.4と高い評価を受けていた。昨年度も上昇した「部活動」「学校行事」の評価がさらに上昇したことが、保護者・生徒の本校への満足度の高さにつながっている。また、「スローラーナーへの対応」や「進路指導」の生徒の評価が少し上昇したことが、「入学後、学校生活を楽しく感じているか」という質問に対して、3.25と高くなった理由にもつながっていると考えられる。

### 【中学校】

#### ① 学校運営の分析

「教育方針・教育目標」の浸透については保護者評価が3.06に対し、生徒評価が2.65と乖離している。ただし、過去4年間の比較では保護者が3.21→3.26→3.11→3.06と右肩下がりであるのに対し、生徒評価は2.54から僅かに回復を見せている。短期目標を示すことはできているが、学校としての方針、目指す人間像を示すことを検討する。

情報公開中の「HPの活用」については生徒、保護者とも昨年度の評価を上回っている。タイムリーに更新できている時とそうでない時があることと保護者ポータルが有効利用しきれていないことが反省点である。HP更新を専門で対応する教員を配置することを検討する。

「避難訓練や安全対策」の項目も昨年度の評価を上回っている。しかし、年に一度の避難訓練と携帯安全教室、防犯教室以外にAEDや消火器の位置確認、不審者が侵入した場合、地震対策など取り組むべき対策は多様にあるが、授業時間の確保と各種行事の狭間で精選して行わなければならない現実がある。

#### ② 教育内容（知徳体）の分析

##### ア 知育

「スローラーナーへの対応」は保護者が2.63と過去最低、生徒が3.03と昨年と同じ数値であった。各科目とも成績不振者や未提出者への対応はきめ細かく行っているが、その内容が保護者に十分に伝わっていないと推測される。

「学力向上における組織的な取組」については保護者の評価は徐々に下がってきているのに対し、生徒の評価は回復傾向にある。保護者との壁を無くしていくためにもっと教育内容をアピール、可視化していくとともに教育内容を精選して

授業計画を立てることとする。

## イ 徳育

「社会規範の理解とモラルの醸成」は保護者の評価が 2.97 と高めなのに対し、生徒は 2.78 と 3 年間で最低の数値となった。この項目は家庭と学校が連携して取り組むべき問題である。今回、初めて調査項目となった「いじめへの対応」であるが、保護者評価が 2.96、生徒評価が 2.63 と 0.33 ポイントの乖離を示した。また全ての項目の中で生徒評価はこの項目が最低である。いじめは教員や保護者の気付かない所で行われる性質のものであることから、我々が見ていない所でいじめに苦しんでいる生徒がいるのではないかと危惧する。休み時間の巡回や授業管理を徹底するとともに、いじめを許さないという学校としての姿勢を明確に訴えかけ、生徒同士での抑止、また教員への連絡が徹底できる環境づくりを早急に検討する。

### ③ 生徒指導・生徒支援の分析

「指導方針の一貫性」において生徒の評価より保護者の評価が下回る傾向が見られる。「家庭との連携状況」は改善されてきているので、一層の連携を目指すとともに、指導方針を理解いただくことに努めることが求められる。「学校行事の指導体制」の評価が保護者 3.04、生徒 3.08 と高いのに反し、部活動支援状況も保護者の評価は過去最低となった。提出物指導や再テスト、補習に力を入れるとその分、クラブに行けず、このような結果になるのは自明であろう。学習習慣がしっかりと身につくまでは厳しく、粘り強く指導することが必要不可欠であるが、保護者に理解、信頼してもらい、堅固な協力体制を築くことができる方策を見出し、実行に移すこととする。

21 の小項目の内、過去 3 年間で今年度がもっとも高かった項目が 6 つある内、3 項目（家庭との連携状況・進路指導体制・学校行事指導体制）がこの大項目に集まっていることは平素の指導が評価されたものと素直に喜ぶたい。

### ④ 学校生活の分析

「この学校に入学させて（して）良かった」という項目の保護者評価が年々ダウンし、今年度とうとう 3.0 を割ってしまった（2.98）ことは緊急に対応を考えるべき項目である。同項目の生徒評価は昨年度に 2.85、今年度 2.86 と 3.0 を割ったまま横ばい状態である。多感で難しい時期の子供であるが、粘り強く、信頼関係を構築しながら指導することが肝要であろう。厳しく指導することと良い所を褒めてやることの両輪の内、後者が不足していることにより、不満が蓄積しているのかも知れない。

中学生の特質として、1 年生ではまだまだ幼く、中学受験が終わった開放感から学習習慣が定着しない傾向が強い。2 年生では学校生活に慣れ、気持ちが緩む生徒、反抗期を迎え、教員にも保護者にも反抗的な生徒などが多々見受けられる。そのよ

うな時期を乗り越え、3年生になると自我が確立し、精神的にも落ち着いてくる。ただし、公立中学校の生徒と比べ、その精神的成長は緩やかで本当に落ち着き始めるのは高校に入学してからとなる。生徒の評価が2年生で落ち込み、3年生で持ち直すというV字型の傾向が多いのはその要因が多分にあるのではないかと分析する。

#### **【事務室の対応】**

保護者アンケートにおける「事務室の対応（項目：20）」については、高校及び中学校も非常に高い評価を得ている。さらにより満足度を向上させるため、次年度も本年度同様、以下のとおり事務職員一人ひとりが取り組んでいく。

昨年までは、事務室に直接来られる保護者に対しては、そのほとんどを事務室の窓口で対応していたが、本年度からは、保護者の相談内容によっては、早々に事務室内に設置している応接室に移動してもらうなどの配慮をするように取り組んできた。

また、保護者からの電話による質問に対しては、できるだけ早く回答するよう心掛けるとともに、担当者が不在の場合は、その引き継ぎ内容を的確に担当者に伝えることを忘れないように留意し早急に対応する体制を確実に構築していく。

## 5 関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会 まとめ

平成 27 年 3 月 9 日

関西大学 学長補佐

化学生命工学部教授 青田浩幸

学校評価で最も重要な生徒の授業への満足度は本年も 3.47 と非常に高く問題ない。

今年度の重点目標として、①学力向上、②教員間の連携を掲げており、①においては、特に課題である英語力の向上施策として、次年度より本学外国語学部より、英語教育アドバイザーを招聘し、現場の教諭と大学教員が連携し、底上げをはかっていく予定である。また、特色となる理数教育については、従来行われている SPP（サイエンスパートナーシッププログラム）や科学部振興プログラムに加え、本年度新たに、英語教育と理数教育のコラボレーションプログラムを実施したことは外部からの評価が非常に高いことが伺える。今後は更なる高みとなる SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の採択校になることを期待する。

### 学力に関して

北陽中学 1 期生が在籍する高校 2 年生には非常に学力の高い生徒が育っていると同時に、スローラーナーも存在することが報告され、この問題に対して習熟度別学習を次年度より導入することが報告された。このことについて筒井新庄小学校校長より公立小学校でも習熟度にあわせた学びについて、すでに取り入れており、クラス別、コース別に選択が可能で、選択した内容を確実に生徒に理解させることを目標としていることが紹介された。北陽中学・高校でもこのような習熟度別学習を積極的に取り入れ、全生徒のさらなる学力向上を目指して欲しい。

### 徳育に関して

挨拶の重要性が話題となり、多くの生徒が実践できていることが地域評価委員から報告があった。

### 組織に関して

先の重点目標②教員間の連携に関して、「管理職と教員、教員間の連携」、「ミドルマネジメントの組織運営」、「会議の有効性」に関してそれぞれ約 0.3 ポイントの向上が見られた。これは一昨年、昨年と指摘しても変化がなかったことが、本年大きく向上したこととなり学校運営の改革として評価されるものである。更なる学校改革を進めるためには決して、これまでがどうだったからという先例主義にならず、若手が管理職を、管理職が若手のやり方を批判するのではなく、北陽中学・高校全体の生徒のため、教員のために何をすべきか、管理職だけが提案するのではなく、年齢に関係なく全構成員が提案し(Plan)、その提案を頭から非難するのではなく、まず実行し(Do)、結果を検討し(Check)、改善する(Act)

PDCAサイクルを全学で推進していただきたい。

最後に鈴木校長が本年度末を持って退職されることは非常に残念であるとともに、北陽高校から関西大学北陽高校・中学校への激動の転換期において多大な努力をされたことに心より敬意を表したい。

2014(平成 26)年度 関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会委員一覧

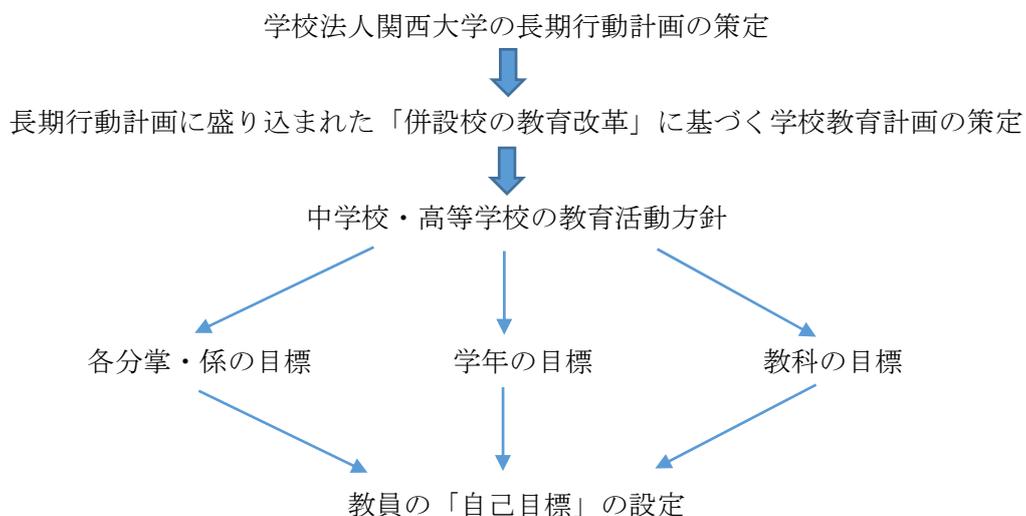
No.	役職	氏名	任期	備考
1	委員長	鈴木清士	H26.4.1 ～H27.3.31	学校長
2	副委員長	田中敦夫	H26.4.1 ～H27.3.31	教頭(高等学校)
3		村上雄一	H26.4.1 ～H27.3.31	教頭(中学校)
4		青田浩幸	H26.4.1 ～H27.3.31	関西大学学長補佐／化学生命工学部教授
5		西原武一郎	H26.4.1 ～H27.3.31	PTA 会長代行
6		池田勝一	H26.4.1 ～H27.3.31	同窓会会長代行
7		外井武俊	H26.4.1 ～H27.3.31	新庄連合振興町会会長
8		猪田一雄	H26.4.1 ～H27.3.31	上中振興町会会長
9		筒井満	H26.4.1 ～H27.3.31	新庄小学校校長

## 6 「学校評価（自己点検・評価）」報告書に対する意見書

関西大学北陽高等学校・中学校 校長 鈴木 清士

今年度における、学力に関する重点目標①、及び組織運営に関する重点目標②において、今後の課題を以下にまとめ、PDCA サイクルを確実にまわすことにする。

- ① 英語と理数における学力向上の取組について、以下の施策を行う。
  - (1) 教員の英語教育力を向上させるために、関西大学外国語学部へ協力をお願いし、2015年度から外国語学部の先生に「英語教育アドバイザー」として月2回程度、本校に来ていただき、助言、指導を仰ぐ。  
→ 「目標」と「計画」については、P. 5参照
  - (2) 特色ある理数教育を進めるため、SPPの代替として「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」が採択されるように取組を進めていく。
  
- ② 組織の活性化を図るために、以下の施策を行う。
  - (1) 学年単位で学校運営ができることを最優先課題と捉え、現在取り組んでいることを継続し、組織化を進めていく。
  - (2) 分掌、係の役割分担において、毎年、同じ教員にチーフを割り当てるのではなく、多くの人に経験を積んでもらう組織作りを行い、人材を育成する。
  - (3) 「学校法人関西大学 KU Vision 2008-2017 長期行動計画」の「併設校の教育改革」に基づいて、本校の学校教育計画を示し、教員一人ひとりが主体的に目標を掲げ、その目標達成に向けての努力する体制をつくる。そのことにより、教育ビジョンの共有化をはかり、管理職と教員の連携を強めていく。



## 7 アンケート結果

### 図表

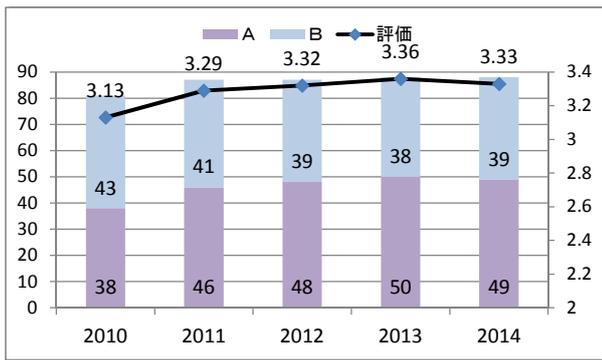
- 【グラフ①】 保護者対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要8項目」の推移
- 【グラフ③】 高校3年生コース別満足度比較
- 【グラフ④】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移
- 【グラフ⑤】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移
- 【グラフ⑥】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移
- 【グラフ⑦】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移
- 【グラフ⑧】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移

### 数表

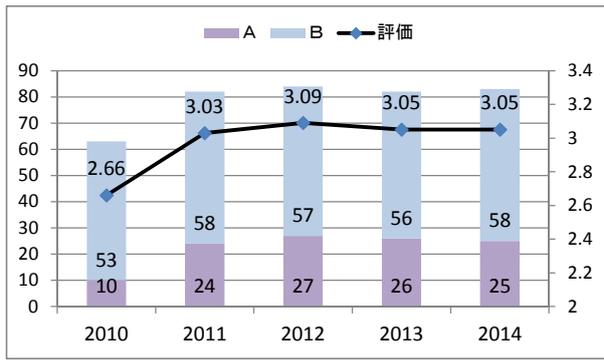
- 資料1—1 学校評価 教員対象アンケート 〈組織〉
- 資料1—2 学校評価 教員対象アンケート 〈個人〉
- 資料1—3 学校評価 教員対象アンケート —「組織」の過去4ヵ年比較—
- 資料1—4 学校評価 教員対象アンケート —「個人」の過去4ヵ年比較—
- 資料2 ① 学校評価 保護者アンケート結果 —高中別—
- 資料2—1 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —学年比較—
- 資料2—2 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2—3 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —学年比較—
- 資料2—4 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2 ② 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—
- 資料2—5 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —学年比較—
- 資料2—6 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —対前年比較—
- 資料2—7 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —学年比較—
- 資料2—8 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —対前年比較—
- 資料2—9 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高校コース別—
- 資料3—1 授業評価 学年別 （高校・中学校別）
- 資料3—2 授業評価 教科別

保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2010年～2014年) 【グラフ ①】

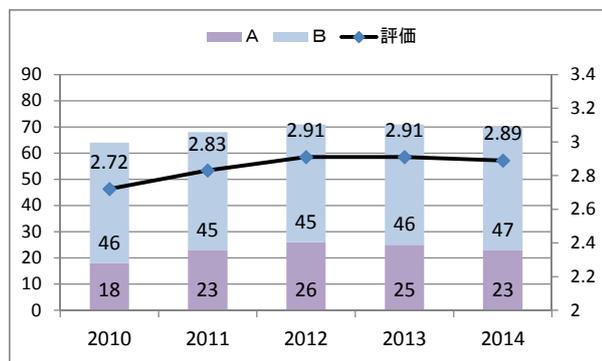
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



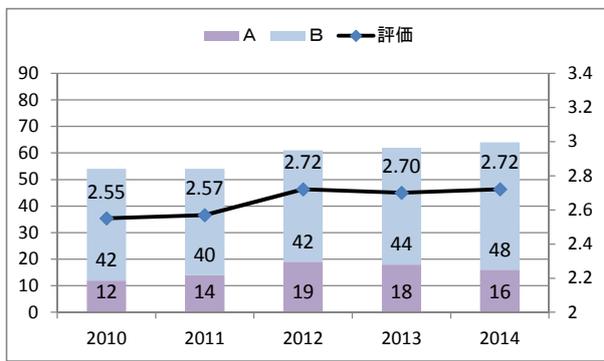
2 本校の教育方針を理解されていますか



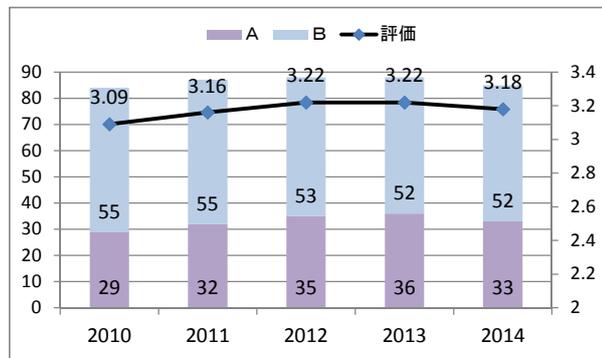
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



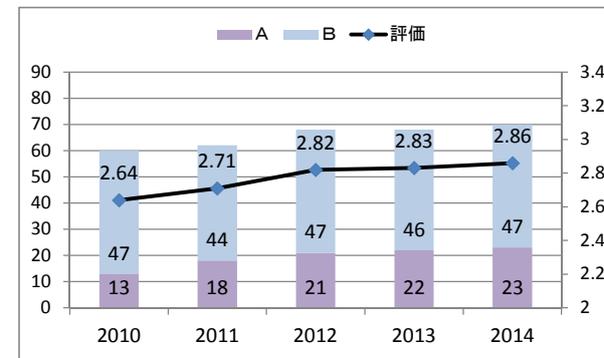
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



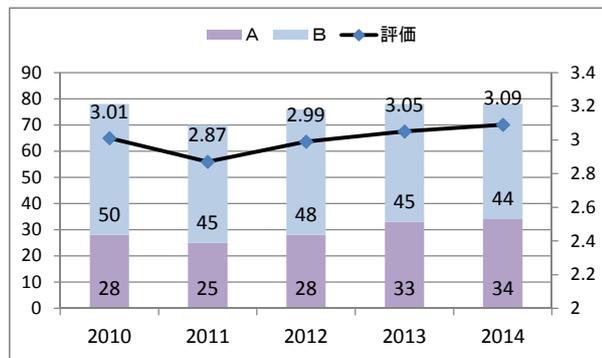
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



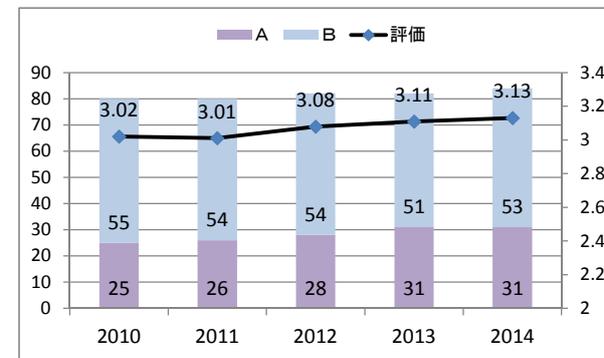
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



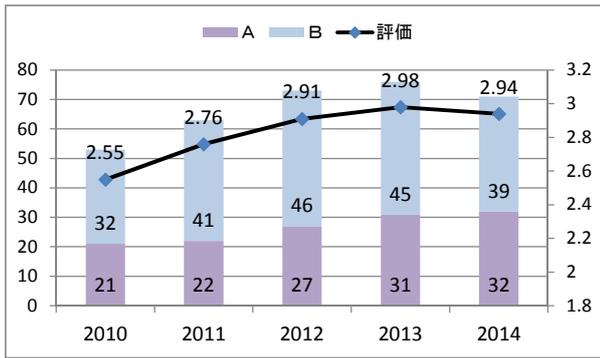
8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか



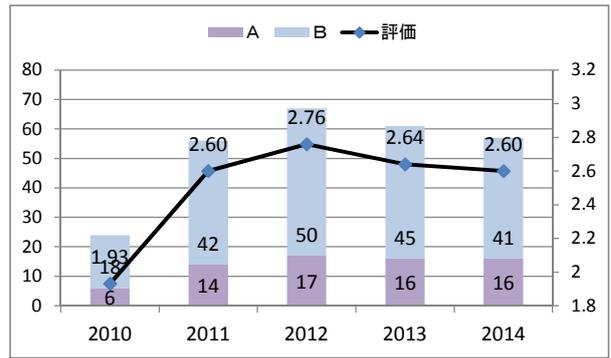
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2010年～2014年）

【グラフ ②】

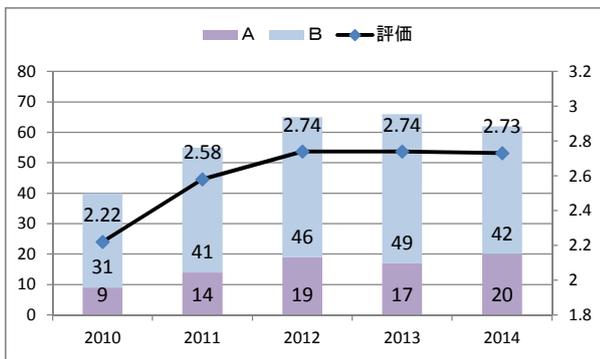
1 この学校に入学して良かったですか



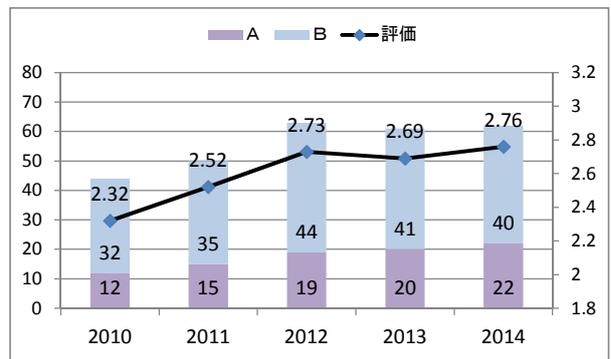
2 学校の教育方針を理解していますか



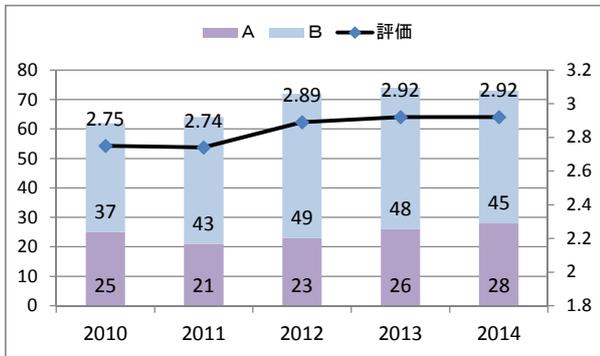
3 自分の学力は向上していると思いますか



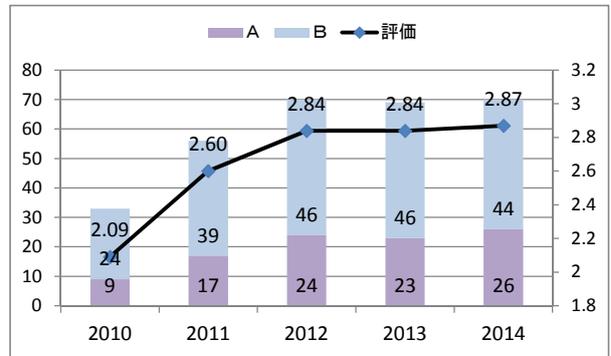
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



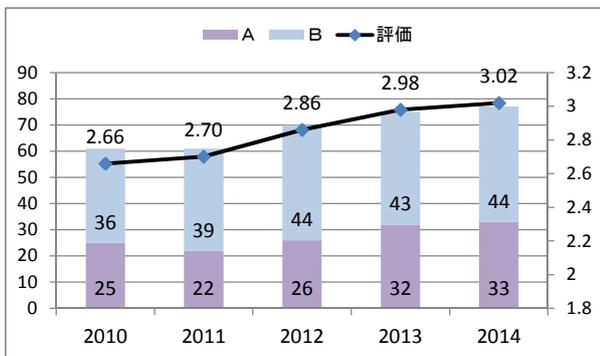
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



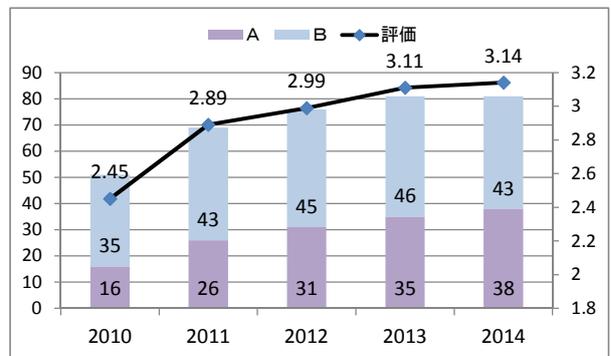
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

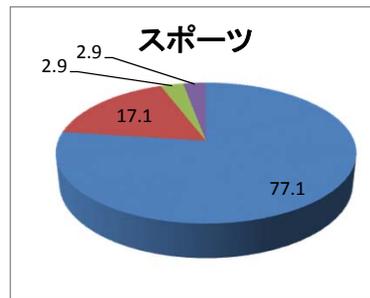
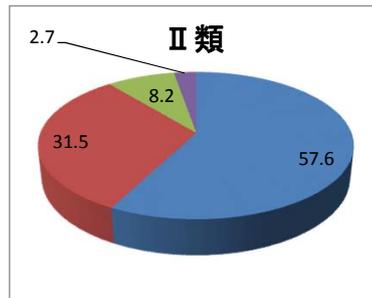
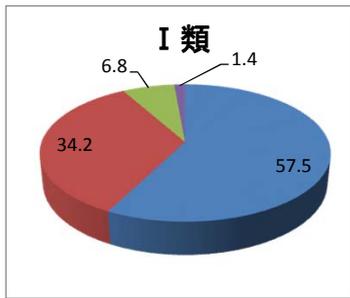


2014年度 高校3年生コース別満足度比較

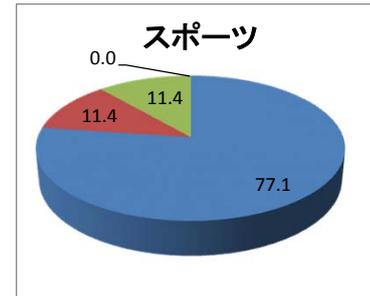
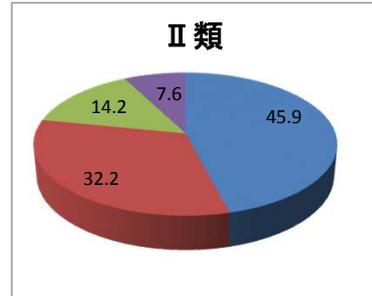
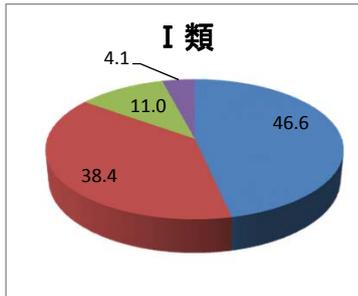
A評価:青 B評価:赤 C評価:緑 D評価:紫

【グラフ ③】

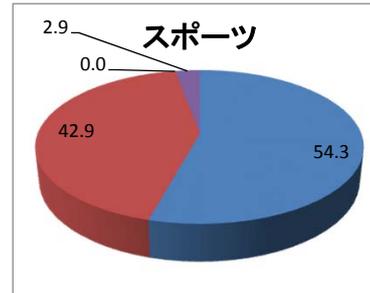
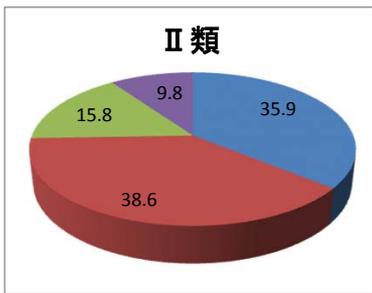
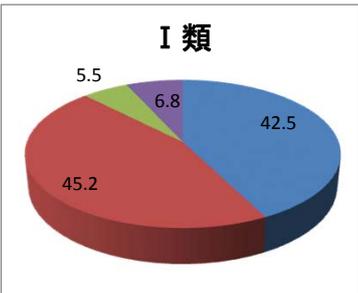
1. 学校生活は楽しいと感じていますか



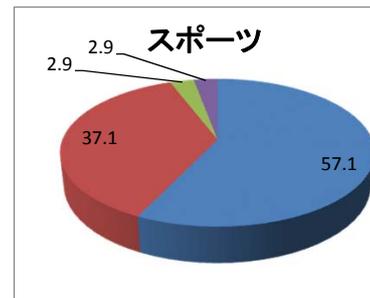
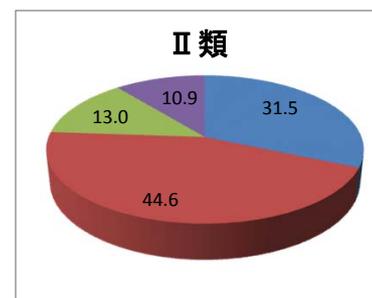
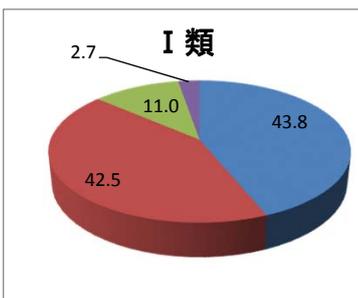
2. 本校に入学してよかったですか



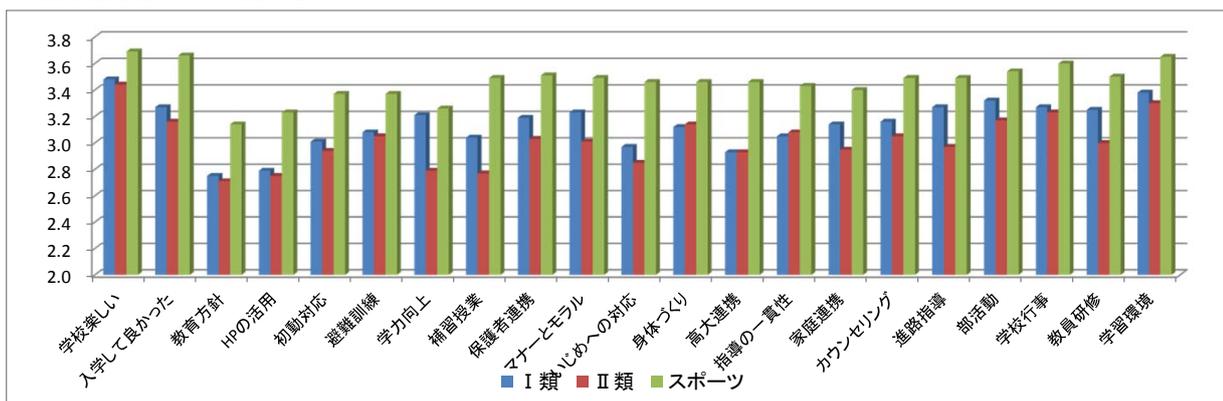
3. モラルの指導によって規範意識が高まったと感じますか



4. きめ細かな進路指導が行われていると感じますか

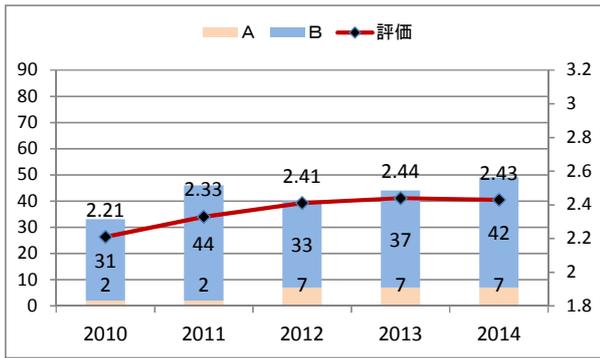


全項目「評価」のコース別比較

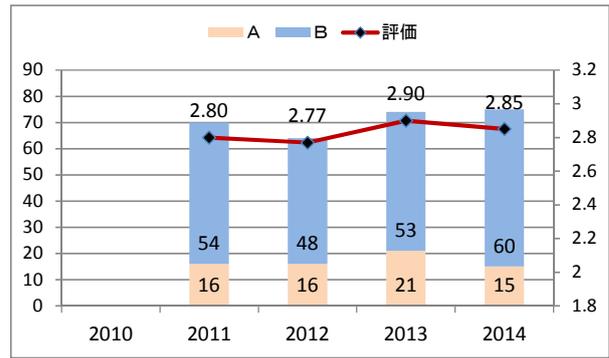


「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移 (2010年～2014年) [グラフ④]

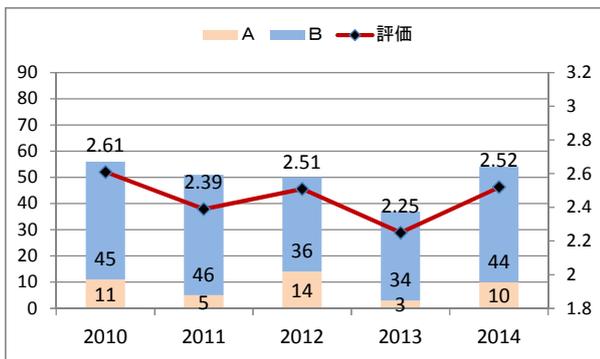
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透しているか。(教員 組織面)



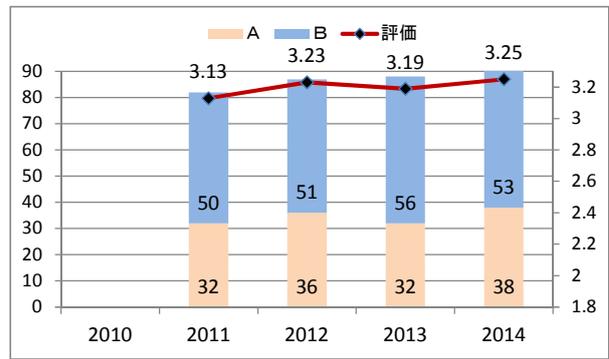
2. 建学の精神、教育方針を理解しているか。(教員個人)



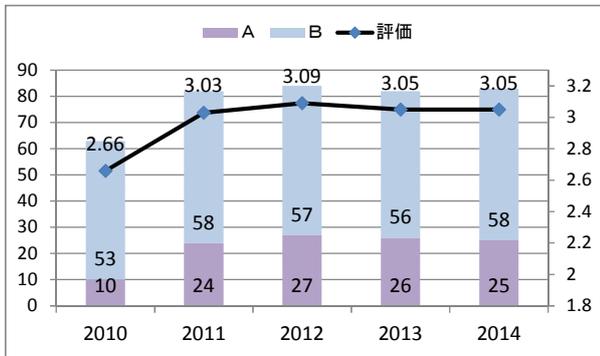
3. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。(教員 組織面)



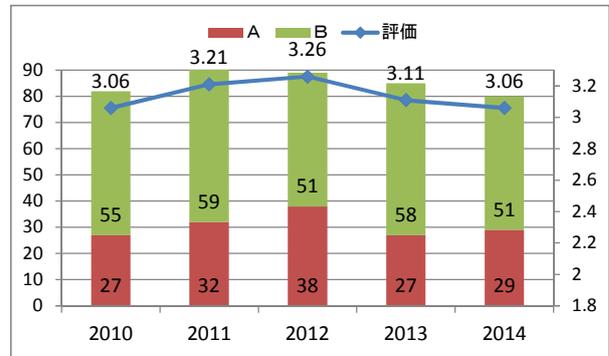
4. 併設校としての使命を自覚した上で生徒の指導にあたっているか。(教員個人)



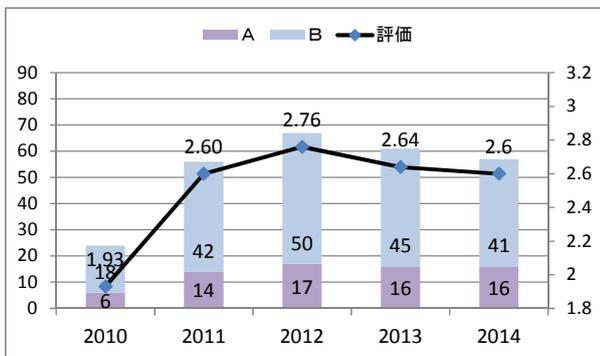
5. 本校の教育方針を理解していますか。(高校保護者)



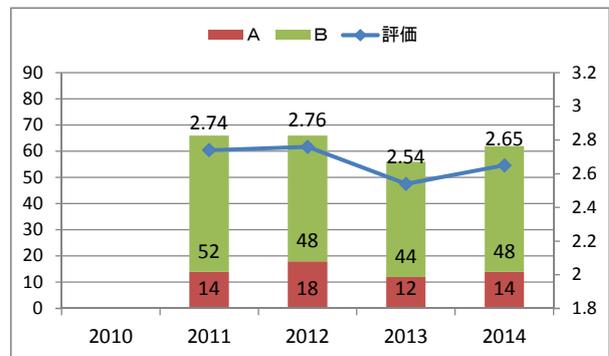
6. 本校の教育方針を理解していますか。(中学校保護者)



7. 本校の教育方針を理解していますか。(高校生)

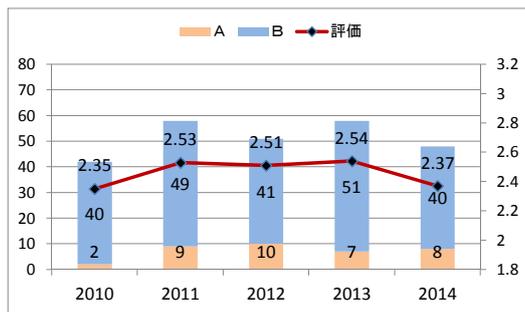


8. 本校の教育方針を理解していますか。(中学生)

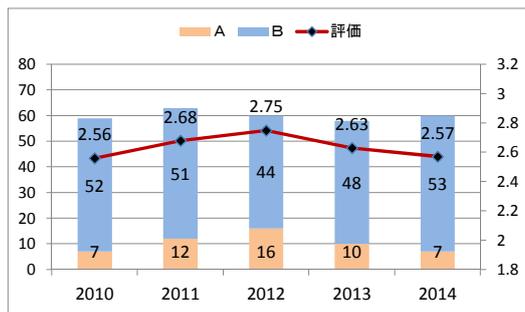


「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2010年～2014年 【グラフ ⑤】）

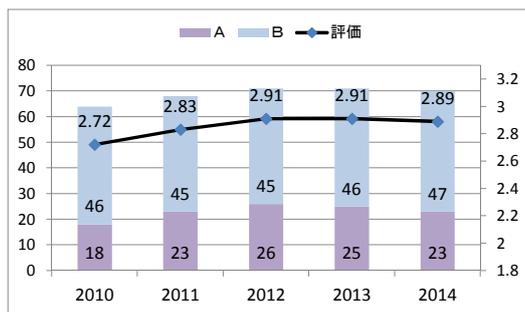
1 学力向上における組織的な取組(教員対象)



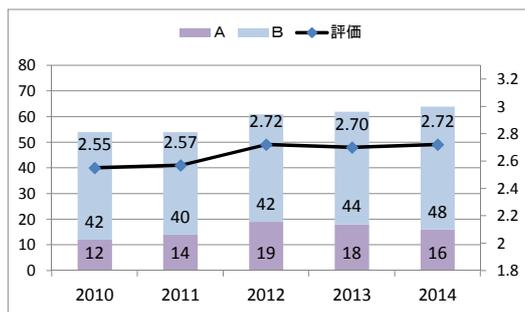
2 スローラーナーへの対応(教員対象)



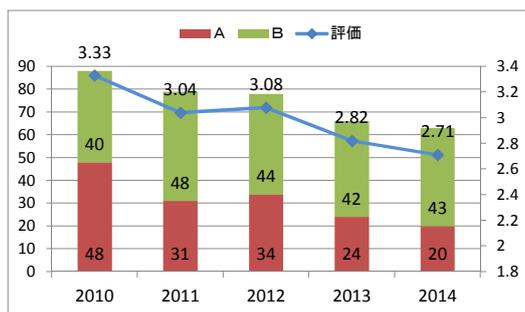
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



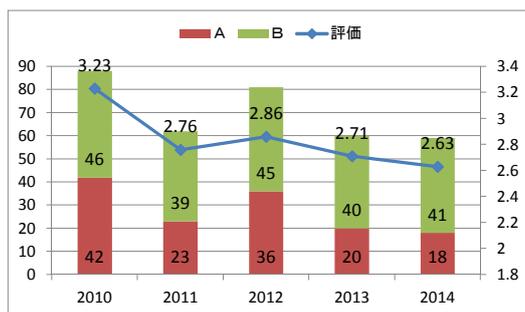
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



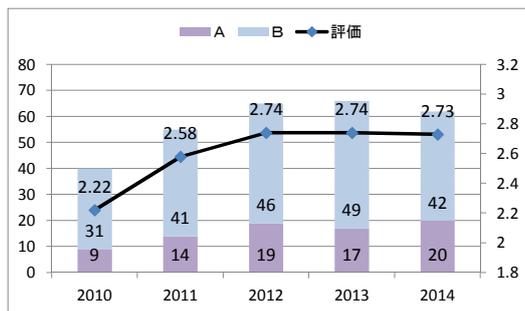
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



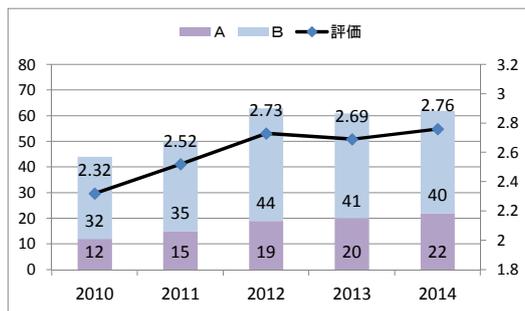
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



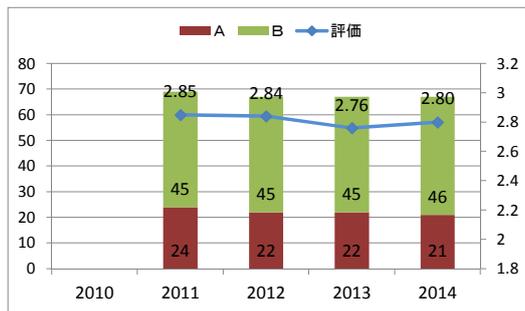
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



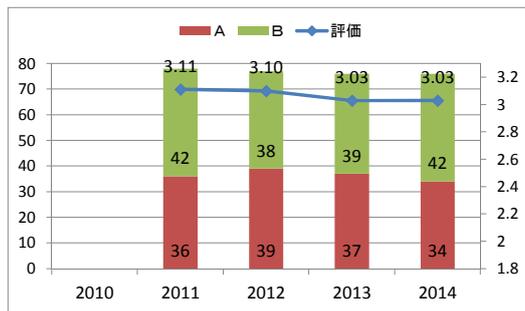
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)

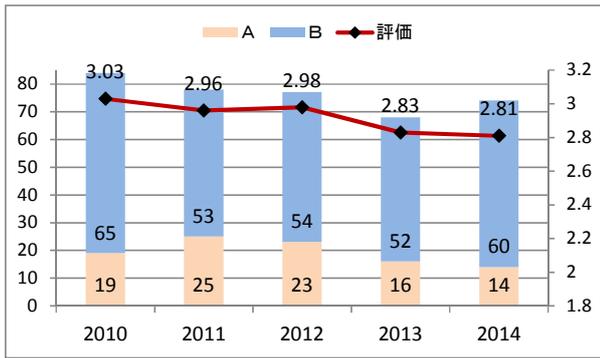


10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)

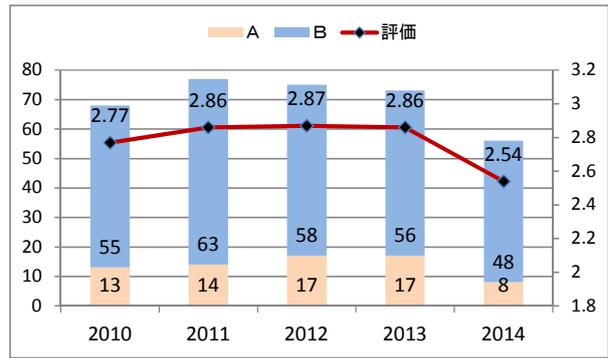


「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2010年～2014年) 【グラフ ⑥】

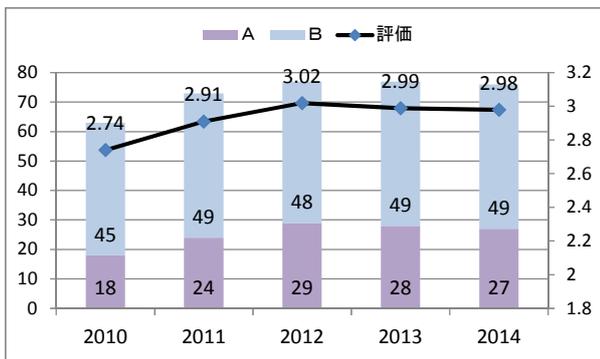
1 学習に関する保護者との連携(教員対象)



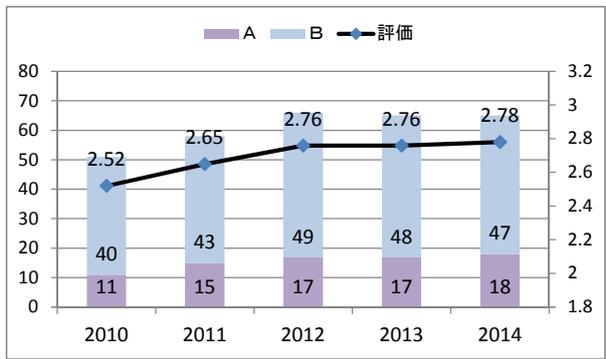
2 生徒指導における保護者との連携(教員対象)



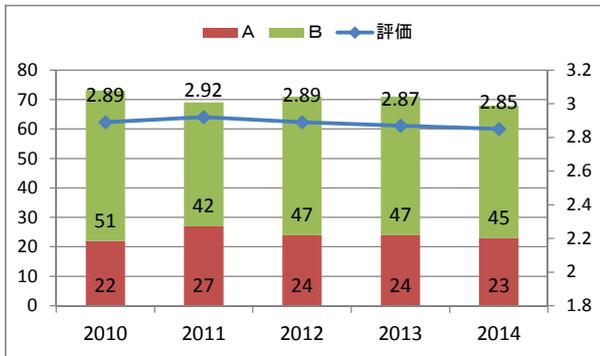
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



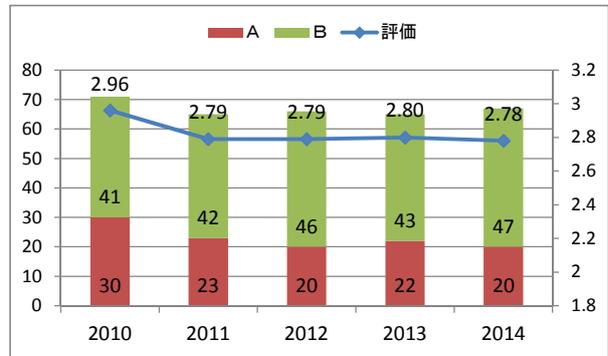
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



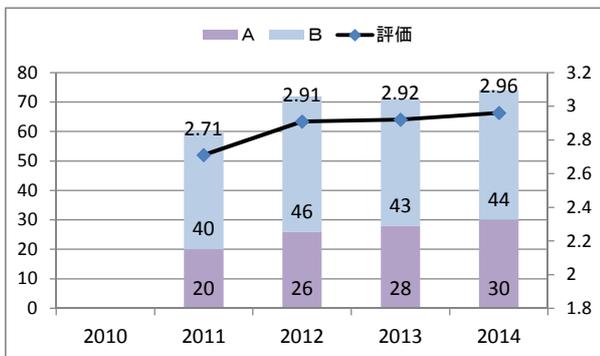
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



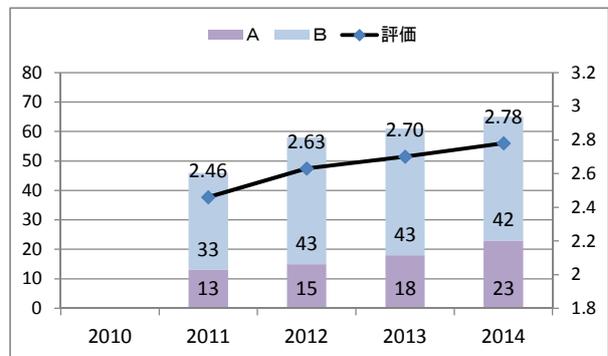
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)

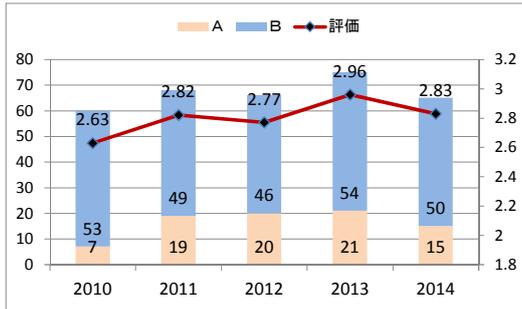


8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)

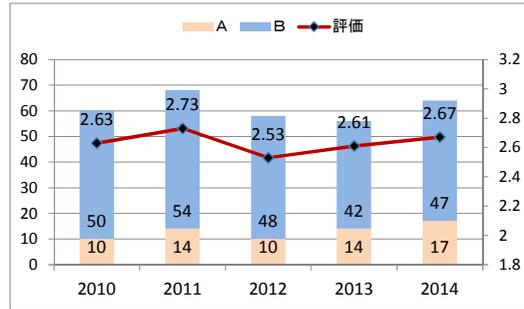


「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2010年～2014年） 【グラフ ⑦】

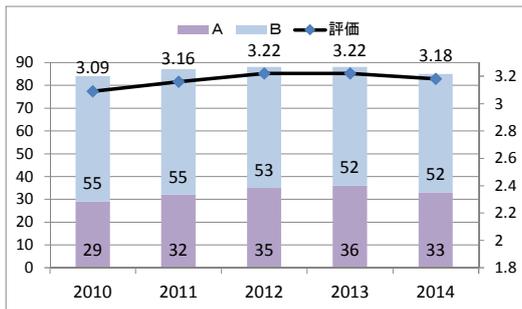
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員対象)



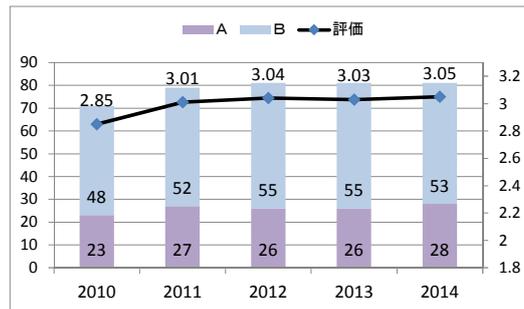
2 生徒指導方針の一貫性(教員対象)



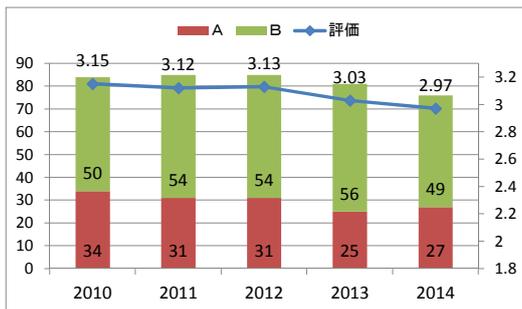
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



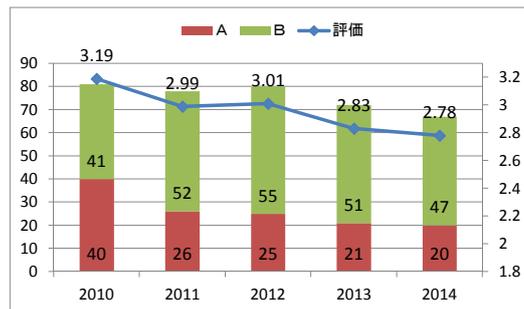
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



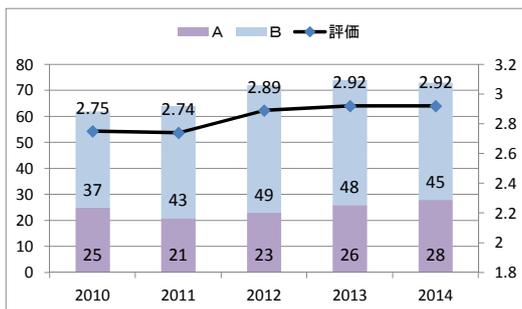
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



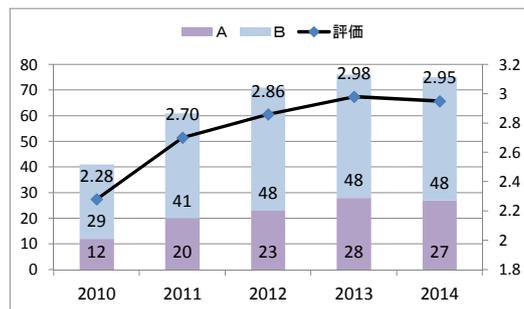
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



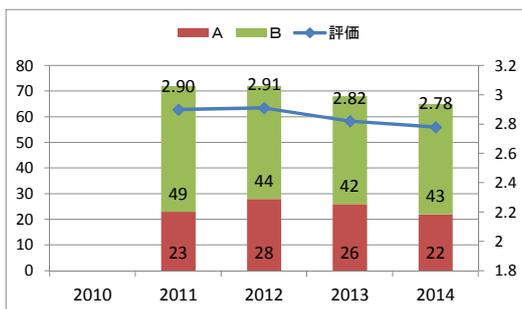
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



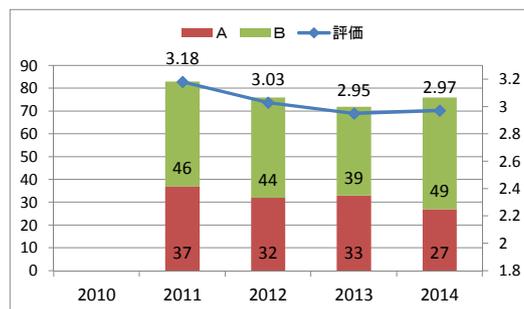
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



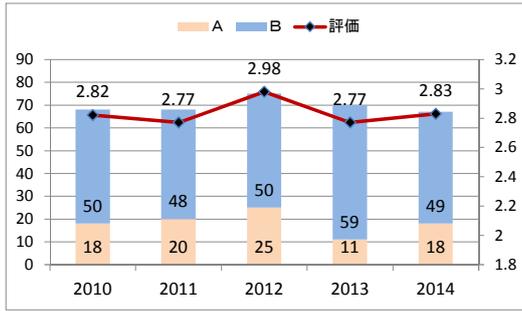
10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



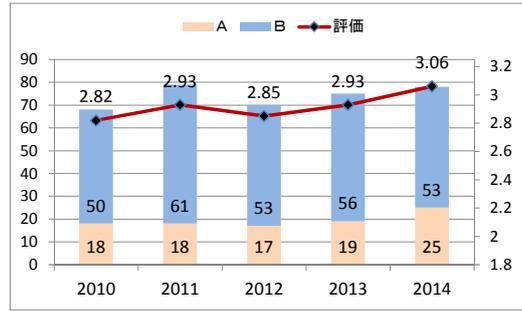
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2010年～2014年）

【グラフ ⑧】

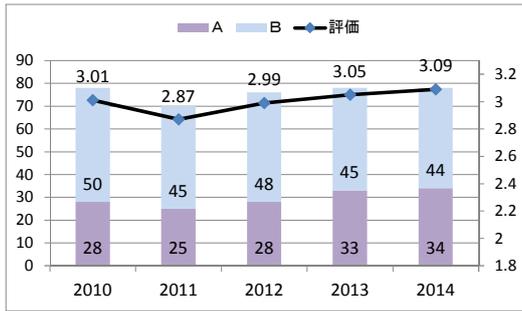
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員対象)



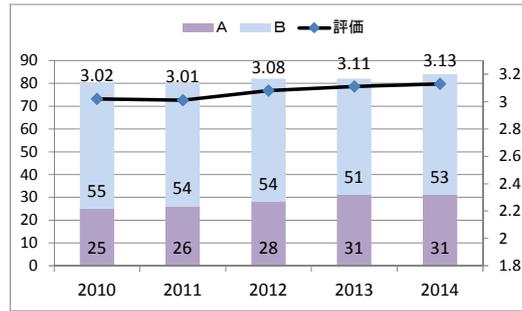
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員対象)



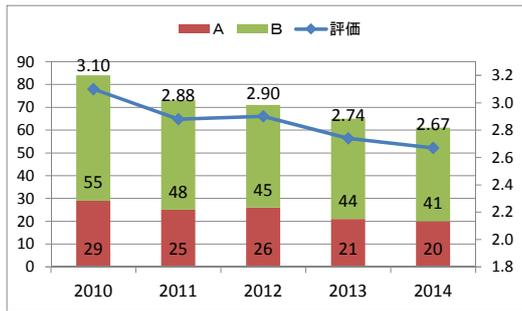
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



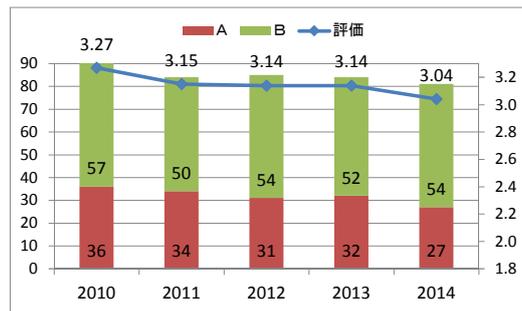
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



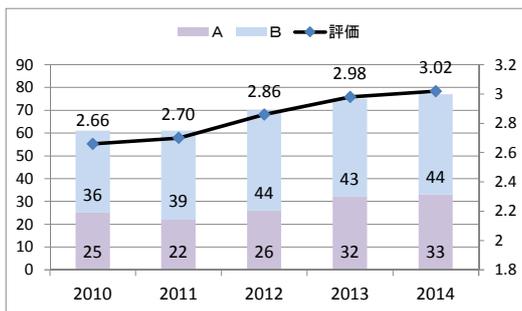
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



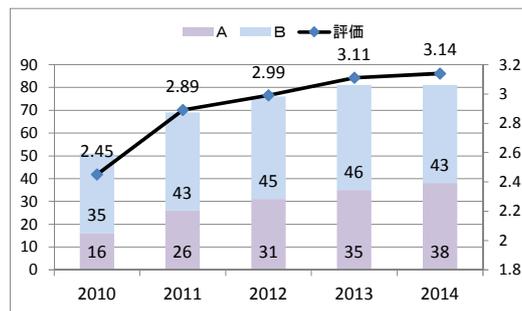
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



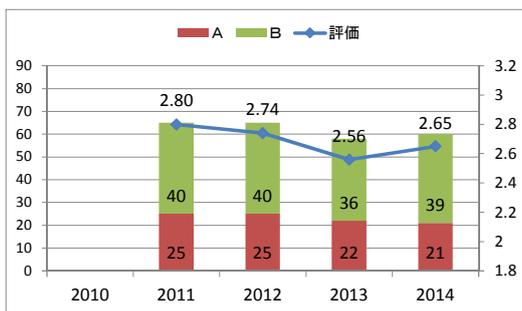
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



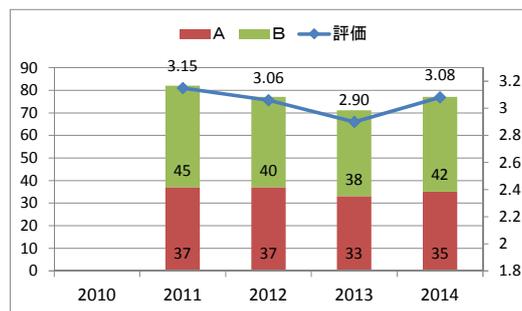
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



平成26年(2014)年度 学校評価 自己点検・評価項目 — 組織 — 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-1】

分類	大項目	No.	小項目	設 問	30項目	評価	A	B	C	D
学校全般	私学の独自性	○ 1			本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	2.91	15.3	63.9	16.7	4.2
		○ 2			本校に入学者は保護者の満足度は高い。	2.66	7.0	56.3	32.4	4.2
学校運営	教職員間連携	○ 3			建学の精神に基づいた教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.43	6.9	41.7	41.7	9.7
		4			関西大学と合併した意義や併設校としての使命	2.52	9.7	44.4	33.3	12.5
		5			管理職と教員、教職員同士の連携	2.20	8.3	22.2	41.7	27.8
		6			ミドルマネジメントによる組織運営	2.39	6.9	40.3	38.9	13.9
		7			会議の有効性	2.54	9.7	40.3	38.9	11.1
		8			ハラスメントに関する研修	2.67	22.2	38.9	27.8	11.1
		9			ホームページの活用	2.64	14.1	46.5	31.0	8.5
		10			初動対応	2.66	15.5	45.1	28.2	11.3
		11			避難訓練や安全対策	2.98	33.3	43.1	15.3	8.3
		12			地域連携の推進	2.52	6.9	48.6	37.5	6.9
教育内容	知 育	○ 13			学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.37	8.3	40.3	38.9	12.5
		○ 14			スローラーナーへの対応	2.57	6.9	52.8	33.3	6.9
		○ 15			保護者との連携	2.81	13.9	59.7	25.0	1.4
		○ 16			社会規範の理解とモラルの醸成	2.83	15.3	50.0	29.2	5.6
		○ 17			いじめへの対応	2.74	15.3	45.8	34.7	4.2
		18			ボランティア活動の推進	2.89	23.6	52.8	18.1	5.6
		○ 19			健康な身体づくり	3.06	22.2	59.7	13.9	4.2
		○ 20			人権に対する指導体制	2.72	11.1	59.7	22.2	6.9
		○ 21			中高大連携事業の実践	2.72	18.1	41.7	34.7	5.6
		生徒支援	生徒指導	22			生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	2.67	16.9	46.5
23					組織的な指導体制・家庭との連携	2.54	8.3	48.6	30.6	12.5
○ 24					カウンセリング体制	3.28	38.9	51.4	8.3	1.4
25					進路指導体制	2.67	12.5	50.0	31.9	5.6
26					部活動支援状況	2.83	18.1	48.6	30.6	2.8
27					学校行事指導体制	3.06	25.0	52.8	20.8	1.4
教員研修	教員相互の資質向上体制	○ 28			校内外における教員研修	2.48	11.1	36.1	43.1	9.7
		29			教員相互の資質向上体制	2.44	11.1	41.7	33.3	13.9
その他	国際化	30			国際理解	2.44	5.6	47.2	34.7	12.5

注：○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

平成26年(2014)年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人 一 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.	設 問	25項目	評価	A	B	C	D	
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神・関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	2.85	15.3	59.7	19.4	5.6	
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.25	37.5	52.8	6.9	2.8	
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成したシラバスに沿って授業を行なっている。	3.26	37.5	51.4	11.1	0.0	
		4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	2.99	30.6	41.7	23.6	4.2	
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議などが効率的に運営されるよう努めている。	3.03	23.6	58.3	15.3	2.8	
		6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対する的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.14	37.5	43.1	15.3	4.2	
分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.22	43.1	40.3	12.5	4.2		
	8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.14	34.7	47.2	15.3	2.8		
教育内容	知	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.11	30.6	52.8	13.9	2.8	
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.17	38.9	40.3	19.4	1.4	
		11	模試や入試問題の活用	模範試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	3.04	34.7	40.3	19.4	5.6	
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.69	15.3	45.8	31.9	6.9	
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	2.86	18.3	54.9	21.1	5.6	
	徳	14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.73	19.7	43.7	26.8	9.9	
		15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.28	38.9	52.8	5.6	2.8	
		16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.14	27.8	59.7	11.1	1.4	
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互恵関係を築く努力をしている。	3.21	31.9	58.3	8.3	1.4	
		18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対する理解を深め、積極的に協力をしている。	2.94	25.0	48.6	22.2	4.2	
	生徒指導	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.01	26.4	50.0	22.2	1.4
			20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	2.85	22.2	44.4	29.2	4.2
		進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	2.79	19.4	45.8	29.2	5.6
			22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.01	33.3	43.1	15.3	8.3
	教員研修	教員研修	23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.03	29.2	48.6	18.1	4.2
24			教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.97	31.9	38.9	23.6	5.6	
25		教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.67	17.9	40.3	32.8	9.0		

注:○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準

A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

学校評価(教員対象)

—「組織面の自己評価」の年次比較(過去4力年)—

【資料1-3】

分類	大項目	小項目	教員 組織面の自己評価																							
			2011年度				2012年度				2013年度				2014年度											
			NO.	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D								
学校全般	学園生活	学校の独自性	○ 1	2.77	10.5	63.2	19.3	7.0	3.00	26.2	49.2	23.0	1.6	2.93	14.1	64.8	21.1	0.0	2.91	15.3	63.9	16.7	4.2			
			○ 2	2.58	1.8	57.9	36.8	3.5	2.70	8.2	55.7	34.4	8.2	1.6	2.73	8.5	57.7	32.4	1.4	2.66	7.0	56.3	32.4	4.2		
			○ 3	2.33	1.8	43.9	40.4	14.0	2.41	6.6	32.8	55.7	4.9	2.44	7.0	36.6	49.3	7.0	2.43	6.9	41.7	41.7	9.7			
			4	2.39	5.4	46.4	30.4	17.9	2.51	13.6	35.6	39.0	11.9	2.25	2.8	33.8	49.3	14.1	2.52	9.7	44.4	33.3	12.5			
学校運営	教育課程	私学の独自性	5	2.18	3.6	30.4	46.4	19.6	2.22	1.7	36.7	43.3	18.3	1.94	0.0	21.1	52.1	26.8	2.20	8.3	22.2	41.7	27.8			
			6	1.96	1.8	28.6	33.9	35.7	2.12	3.3	30.0	41.7	25.0	2.10	1.4	24.3	57.1	17.1	2.39	6.9	40.3	38.9	13.9			
			7	2.37	5.3	42.1	36.8	15.8	2.46	8.2	37.7	45.9	8.2	2.28	5.6	33.8	43.7	16.9	2.54	9.7	40.3	38.9	11.1			
			8																							
			9	2.79	12.5	57.1	26.8	3.6	2.92	13.3	68.3	15.0	3.3	2.65	11.3	45.1	40.8	2.8	2.64	14.1	46.5	31.0	8.5			
			10	2.67	12.7	52.7	23.6	10.9	2.70	16.7	45.0	30.0	8.3	2.65	15.5	42.3	33.8	8.5	2.66	15.5	45.1	28.2	11.3			
			11	2.82	21.1	49.1	21.1	8.8	3.07	29.5	49.2	19.7	1.6	3.23	36.6	49.3	14.1	0.0	2.98	33.3	43.1	15.3	8.3			
			12	2.63	16.1	41.1	32.1	10.7	2.63	11.7	48.3	31.7	8.3	2.85	14.1	57.7	26.8	1.4	2.52	6.9	48.6	37.5	6.9			
			教育内容	知	基礎学力の習得	○ 13	2.53	8.8	49.1	28.1	14.0	2.51	9.8	41.0	39.3	9.8	2.54	7.0	50.7	31.0	11.3	2.37	8.3	40.3	38.9	12.5
						○ 14	2.68	12.3	50.9	29.8	7.0	2.75	16.4	44.3	37.7	1.6	2.63	9.9	47.9	38.0	4.2	2.57	6.9	52.8	33.3	6.9
○ 15	2.96	24.6				52.6	17.5	5.3	2.98	23.0	54.1	21.3	1.6	2.83	15.5	52.1	32.4	0.0	2.81	13.9	59.7	25.0	1.4			
○ 16	2.82	19.3				49.1	26.3	5.3	2.77	19.7	45.9	26.2	8.2	2.96	21.1	53.5	25.4	0.0	2.83	15.3	50.0	29.2	5.6			
17																										
18	2.70	17.9				46.4	23.2	12.5	2.62	15.0	38.3	40.0	6.7	3.10	31.0	50.7	15.5	2.8	2.89	23.6	52.8	18.1	5.6			
○ 19	2.93	22.8				50.9	22.8	3.5	3.05	30.0	50.0	15.0	5.0	3.10	28.2	56.3	12.7	2.8	3.06	22.2	59.7	13.9	4.2			
○ 20	2.55	14.3				37.5	37.5	10.7	2.90	21.7	48.3	28.3	1.7	2.86	16.9	56.3	22.5	4.2	2.72	11.1	59.7	22.2	6.9			
○ 21	2.74	22.8				38.6	28.1	10.5	2.77	30.0	26.7	33.3	10.0	2.93	22.5	52.1	21.1	4.2	2.72	18.1	41.7	34.7	5.6			
22	2.73	14.3				53.6	23.2	8.9	2.53	10.0	48.3	26.7	15.0	2.61	14.1	42.3	33.8	9.9	2.67	16.9	46.5	26.8	9.9			
23	2.86	14.3				62.5	17.9	5.4	2.87	16.7	58.3	20.0	5.0	2.86	16.9	56.3	22.5	4.2	2.54	8.3	48.6	30.6	12.5			
24	3.04	25.0				53.6	21.4	0.0	3.11	24.6	65.6	6.6	3.3	3.20	29.6	60.6	9.9	0.0	3.28	38.9	51.4	8.3	1.4			
生徒指導	生徒指導	カウセンシング	25	2.46	8.9	37.5	44.6	8.9	2.52	5.0	46.7	43.3	5.0	2.63	7.0	53.5	35.2	4.2	2.67	12.5	50.0	31.9	5.6			
			26	2.77	19.6	48.2	21.4	10.7	2.98	25.0	50.0	23.3	1.7	2.77	11.4	58.6	25.7	4.3	2.83	18.1	48.6	30.6	2.8			
			27	2.93	17.9	60.7	17.9	3.6	2.85	16.7	53.3	28.3	1.7	2.93	18.6	55.7	25.7	0.0	3.06	25.0	52.8	20.8	1.4			
			○ 28	2.32	7.0	33.3	43.9	15.8	2.43	8.2	36.1	45.9	9.8	2.53	8.6	47.1	32.9	11.4	2.48	11.1	36.1	43.1	9.7			
			29	2.73	17.9	48.2	23.2	10.7	2.62	13.3	48.3	25.0	13.3	2.44	5.7	41.4	44.3	8.6	2.44	11.1	41.7	33.3	13.9			
			30	2.34	10.7	39.3	23.2	26.8	2.24	3.4	40.7	32.2	23.7	2.33	7.1	30.0	51.4	11.4	2.44	5.6	47.2	34.7	12.5			

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

評価基準について

学校評価(教員対象) —「個人面の自己評価」の年次比較(過去4力年)— 【資料1-4】

分類	大項目	小項目	教員 個人面の自己評価																					
			2011年度				2012年度				2013年度				2014年度									
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D							
学校全般	学園生活	1	2.80	16.1	53.6	25.0	5.4	2.77	16.4	47.5	32.8	3.3	2.90	20.6	52.9	22.1	4.4	2.85	15.3	59.7	19.4	5.6		
		2	3.13	32.1	50.0	16.1	1.8	3.23	36.1	50.8	13.1	0.0	3.19	32.4	55.9	10.3	1.5	3.25	37.5	52.8	6.9	2.8		
		3	3.27	51.8	28.6	14.3	5.4	3.54	63.9	27.9	6.6	1.6	3.32	47.1	41.2	8.8	2.9	3.26	37.5	51.4	11.1	0.0		
		4	3.09	30.4	50.0	17.9	1.8	2.95	21.3	60.7	9.8	8.2	3.06	33.8	42.6	19.1	4.4	2.99	30.6	41.7	23.6	4.2		
		5	3.09	28.6	55.4	12.5	3.6	3.07	27.9	54.1	14.8	3.3	3.06	22.1	61.8	16.2	0.0	3.03	23.6	58.3	15.3	2.8		
		6	3.16	33.9	50.0	14.3	1.8	3.02	31.1	44.3	19.7	4.9	3.04	26.5	55.9	13.2	4.4	3.14	37.5	43.1	15.3	4.2		
学校運営	情報公開 危機管理 地域との連携 分掌と学年	7	3.32	44.6	44.6	8.9	1.8	3.35	45.0	46.7	6.7	1.7	3.21	37.3	47.8	13.4	1.5	3.22	43.1	40.3	12.5	4.2		
		8	3.18	35.7	46.4	17.9	0.0	3.18	29.5	62.3	4.9	3.3	3.19	29.4	60.3	10.3	0.0	3.14	34.7	47.2	15.3	2.8		
		9	3.20	35.7	48.2	16.1	0.0	3.10	36.1	39.3	23.0	1.6	3.19	29.4	61.8	7.4	1.5	3.11	30.6	52.8	13.9	2.8		
		10	3.30	39.3	51.8	8.9	0.0	3.28	39.3	49.2	11.5	0.0	3.26	35.3	57.4	5.9	1.5	3.17	38.9	40.3	19.4	1.4		
		11	3.13	35.7	41.1	23.2	0.0	3.15	33.3	50.0	15.0	1.7	3.00	22.1	61.8	10.3	5.9	3.04	34.7	40.3	19.4	5.6		
		12	2.84	17.9	51.8	26.8	3.6	2.85	23.0	42.6	31.1	3.3	2.81	19.1	45.6	32.4	2.9	2.69	15.3	45.8	31.9	6.9		
		13	3.21	28.6	64.3	7.1	0.0	3.11	29.5	55.7	11.5	3.3	2.93	16.2	63.2	17.6	2.9	2.86	18.3	54.9	21.1	5.6		
		14	2.84	26.8	35.7	32.1	5.4	2.93	26.7	48.3	16.7	8.3	2.71	17.6	45.6	26.5	10.3	2.73	19.7	43.7	26.8	9.9		
		15	3.34	44.6	44.6	10.7	0.0	3.28	44.3	41.0	13.1	1.6	3.26	32.4	61.8	5.9	0.0	3.28	38.9	52.8	5.6	2.8		
		教育内容	徳育 体育 健康教育 学校間連携 生徒指導	16	3.23	33.9	55.4	10.7	0.0	3.13	36.1	44.3	16.4	3.3	3.15	33.8	48.5	16.2	1.5	3.14	27.8	59.7	11.1	1.4
				17	3.32	44.6	42.9	12.5	0.0	3.33	45.9	42.6	9.8	1.6	3.22	35.3	52.9	10.3	1.5	3.21	31.9	58.3	8.3	1.4
				18	3.04	25.0	55.4	17.9	1.8	3.00	19.7	60.7	19.7	0.0	3.03	23.5	57.4	17.6	1.5	2.94	25.0	48.6	22.2	4.2
				19	3.16	32.1	53.6	12.5	1.8	3.00	26.2	52.5	16.4	4.9	3.16	29.4	58.8	10.3	1.5	3.01	26.4	50.0	22.2	1.4
				20	2.73	16.1	48.2	28.6	7.1	3.03	31.7	46.7	15.0	6.7	2.96	23.5	54.4	16.2	5.9	2.85	22.2	44.4	29.2	4.2
				21	2.70	10.7	55.4	26.8	7.1	2.72	14.8	52.5	23.0	9.8	2.81	16.2	54.4	23.5	5.9	2.79	19.4	45.8	29.2	5.6
22	3.00			35.7	35.7	21.4	7.1	2.97	31.1	41.0	21.3	6.6	3.04	38.2	30.9	27.9	2.9	3.01	33.3	43.1	15.3	8.3		
23	3.22			32.7	56.4	10.9	0.0	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	3.13	29.4	55.9	13.2	1.5	3.03	29.2	48.6	18.1	4.2		
24	2.89			21.4	50.0	25.0	3.6	2.80	24.6	37.7	31.1	6.6	2.84	17.6	51.5	27.9	2.9	2.97	31.9	38.9	23.6	5.6		
25	2.74			16.7	46.3	31.5	5.6	2.62	18.0	39.3	29.5	13.1	2.67	7.5	56.7	31.3	4.5	2.67	17.9	40.3	32.8	9.0		
その他	国際化																							

注： A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

評価基準について

平成26年(2014)年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート — 高中別 — 【資料2①】

	設 問 (保護者対象) 20項目	高等学校					中学校				
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	3.37	50.0	38.1	10.7	1.2	3.19	44.4	36.4	13.3	5.9
2	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか。	3.33	48.5	38.7	10.3	2.5	2.98	30.7	43.0	19.7	6.6
3	教育方針・教育目標	3.05	24.9	58.3	14.4	2.4	3.06	29.1	50.7	17.5	2.7
4	HPの活用	2.69	16.5	47.3	24.9	11.2	2.84	20.0	52.5	18.5	9.0
5	初動対応	3.02	24.1	56.4	16.0	3.4	2.99	29.9	46.6	16.4	7.2
6	避難訓練や安全対策	2.78	15.7	51.2	27.8	5.3	2.84	21.0	47.6	26.0	5.4
7	学力向上における組織的な取組	2.89	23.2	47.4	23.7	5.7	2.71	19.5	42.6	26.7	11.1
8	スローラーナーへの対応	2.72	15.7	48.2	28.5	7.6	2.63	18.0	41.0	26.6	14.4
9	保護者との連携	2.98	26.6	49.3	19.8	4.4	2.85	23.1	45.4	24.9	6.5
10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.18	33.4	52.3	12.6	1.6	2.97	26.5	48.8	19.9	4.8
11	いじめへの対応	3.03	22.8	59.8	14.5	2.8	2.96	25.2	51.6	17.2	5.9
12	健康な身体づくり	3.21	34.7	52.5	11.4	1.4	3.18	34.3	51.8	11.8	2.1
13	中高大連携事業の実践	3.01	27.0	50.4	19.7	2.9	2.91	24.1	49.7	19.3	6.8
14	指導方針の一貫性	3.05	27.5	53.1	15.7	3.7	2.78	20.3	47.2	22.4	10.1
15	家庭との連携状況	2.78	17.9	47.3	29.7	5.1	2.81	20.2	48.1	24.3	7.4
16	カウンセリング体制	2.56	26.1	27.7	25.2	21.0	2.76	37.0	25.9	15.4	21.7
17	進路指導体制	2.86	22.6	47.4	23.7	6.4	2.49	10.1	43.8	31.5	14.6
18	部活動支援状況	3.09	34.2	44.2	17.6	3.9	2.67	20.2	41.4	24.1	14.3
19	学校行事指導体制	3.13	31.1	52.7	14.1	2.0	3.04	27.0	53.7	15.7	3.6
20	教員研修体制	2.81	18.6	50.3	24.0	7.1	2.60	15.9	41.7	30.0	12.3
21	事務室の対応	3.26	38.8	50.4	8.4	2.4	3.30	42.5	46.4	9.6	1.5
		評価平均 2014年度									
		2.99									
		2013年度									
		2.98									
		2012年度									
		3.00									
		2011年度									
		2.91									

平成26年(2014)年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) 一学年比較 【資料2-1】

		高等学校																						
分類	大項目	NO	小項目	1学年				2学年				3学年				全体								
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D						
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.34	48.2	38.5	12.1	1.2	3.37	47.7	42.1	9.9	0.3	3.41	55.3	32.5	9.8	2.4	3.37	50.0	38.1	10.7	1.2	
		○ 2		3.30	45.9	39.9	12.1	2.1	3.31	46.3	41.0	10.6	2.2	3.40	54.7	34.3	7.5	3.5	3.33	48.5	38.7	10.3	2.5	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	3.07	23.5	62.8	11.6	2.1	2.98	22.5	55.3	20.3	1.9	3.11	29.8	56.0	10.7	3.6	3.05	24.9	58.3	14.4	2.4	
		○ 4		情報公開	2.69	17.0	46.9	23.6	12.5	2.60	13.1	46.6	27.5	12.8	2.80	20.2	48.8	23.4	7.5	2.69	16.5	47.3	24.9	11.2
	危機管理	5	初動対応	3.03	22.0	61.1	14.5	2.4	2.94	21.3	56.2	17.6	4.9	3.09	30.6	50.6	16.1	2.7	3.02	24.1	56.4	16.0	3.4	
		○ 6	避難訓練や安全対策	2.70	11.7	50.9	32.0	5.4	2.76	16.1	49.1	29.2	5.6	2.91	20.5	54.3	20.5	4.7	2.78	15.7	51.2	27.8	5.3	
	教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.86	21.1	48.5	25.0	5.4	2.84	20.5	48.1	25.8	5.6	2.98	29.5	44.9	19.3	6.3	2.89	23.2	47.4	23.7	5.7
			○ 8	スローラーナーへの対応	2.70	14.2	48.4	30.0	7.4	2.68	13.6	47.7	32.2	6.5	2.80	20.3	48.6	21.9	9.2	2.72	15.7	48.2	28.5	7.6
徳育		○ 9	保護者との連携	2.96	22.0	54.9	19.3	3.9	2.92	23.5	49.4	23.1	4.0	3.09	36.6	41.7	16.1	5.5	2.98	26.6	49.3	19.8	4.4	
		○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.22	35.0	51.6	12.8	0.6	3.10	27.9	56.3	13.6	2.2	3.23	38.4	48.2	11.0	2.4	3.18	33.4	52.3	12.6	1.6	
体育		○ 11			3.03	19.8	64.5	14.2	1.5	3.03	24.1	57.7	15.1	3.1	3.02	25.3	56.1	14.2	4.3	3.03	22.8	59.8	14.5	2.8
		○ 12	健康な身体づくり		3.23	36.7	50.3	12.1	0.9	3.23	35.4	52.8	11.2	0.6	3.14	31.2	54.9	10.7	3.2	3.21	34.7	52.5	11.4	1.4
生徒指導・生徒支援	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	2.99	24.1	53.3	19.6	3.0	2.97	24.1	51.1	21.9	2.8	3.11	34.5	45.6	17.1	2.8	3.01	27.0	50.4	19.7	2.9	
		14	指導方針の一貫性	3.05	25.4	56.4	15.2	3.0	3.01	25.9	52.6	18.1	3.4	3.09	32.3	49.2	13.4	5.1	3.05	27.5	53.1	15.7	3.7	
	生徒指導	15	家庭との連携状況	2.74	14.3	49.4	31.5	4.8	2.68	12.7	48.5	33.3	5.6	2.96	29.2	43.1	22.5	5.1	2.78	17.9	47.3	29.7	5.1	
		○ 16	カウンセリング体制	2.39	20.7	24.6	29.1	25.5	2.53	25.5	27.4	24.2	23.0	23.0	2.85	34.0	32.4	21.2	12.4	2.56	26.1	27.7	25.2	21.0
	生徒支援	17	進路指導体制	2.73	15.5	49.6	27.8	7.2	2.85	20.8	48.8	24.8	5.6	3.05	34.1	42.7	16.9	6.3	2.86	22.6	47.4	23.7	6.4	
		18	部活動支援状況	3.08	33.4	43.8	19.2	3.6	3.06	32.4	45.8	17.4	4.4	3.14	37.4	42.9	15.7	3.9	3.09	34.2	44.2	17.6	3.9	
	教員研修	教員の研修活動	19	学校行事指導体制	3.11	28.4	55.2	14.6	1.8	3.11	28.3	55.6	14.6	1.6	3.20	38.4	45.9	12.9	2.7	3.13	31.1	52.7	14.1	2.0
			○ 20	教員研修体制	2.78	14.4	55.3	24.6	5.7	2.81	19.4	49.7	23.1	7.8	2.83	23.2	44.5	24.4	7.9	2.81	18.6	50.3	24.0	7.1
	その他	窓口対応	21	事務室の対応	3.23	36.9	51.4	9.1	2.7	3.21	33.6	56.4	7.5	2.5	3.35	47.8	41.4	8.8	2.0	3.26	38.8	50.4	8.4	2.4
			2014年度平均	2.96					2.95						3.07					2.99				
			2013年度平均	2.97					3.01						2.97						2.98			
	2012年度平均	3.10					2.93						3.00						3.00					

平成26年(2014)年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) 一過去4カ年比較— 【資料2-2】

分類	大項目	NO	小項目	2011年度										2012年度										2013年度										2014年度									
				評価		A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D									
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.26	44.5	40.2	12.3	3.0	38.8	9.6	3.2	3.36	49.4	39.5	9.0	2.2	3.37	50.0	38.1	10.7	1.2																						
		○ 2		3.29	45.9	40.8	9.6	3.7	38.8	9.2	3.6	3.36	49.9	38.3	9.2	2.6	3.33	48.5	38.7	10.3	2.5																						
学校運営	私学の独自性 情報公開 危機管理	○ 3	教育方針・教育目標	3.03	24.1	57.5	16.0	2.4	26.9	13.6	2.2	3.05	26.0	55.9	15.4	2.7	3.05	24.9	58.3	14.4	2.4																						
		○ 4	HPの活用	2.96	27.9	45.7	20.8	5.7	49.5	17.8	4.3	2.68	14.7	48.9	25.6	10.7	2.69	16.5	47.3	24.9	11.2																						
		5	初動対応	2.94	18.1	61.5	17.2	3.2	2.99	20.3	14.8	2.9	2.95	20.3	58.2	17.6	3.9	3.02	24.1	56.4	16.0	3.4																					
		○ 6	避難訓練や安全対策	2.81	13.0	59.0	24.1	3.9	2.91	15.3	63.2	19.6	2.0	2.76	15.3	51.8	26.4	6.5	2.78	15.7	51.2	27.8	5.3																				
		○ 7	学力向上における組織的な取組	2.83	22.8	44.8	24.9	7.5	2.91	26.4	45.3	21.7	6.5	2.91	25.3	46.4	21.9	6.4	2.89	23.2	47.4	23.7	5.7																				
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.57	14.4	40.3	33.5	11.8	2.72	19.3	41.7	31.2	7.7	2.70	17.6	44.1	28.5	9.8	2.72	15.7	48.2	28.5	7.6																				
教育内容	知育	○ 9	保護者との連携	2.91	24.2	48.8	21.1	5.8	3.02	28.7	47.6	21.2	2.6	2.99	27.7	48.6	18.9	4.9	2.98	26.6	49.3	19.8	4.4																				
		○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.16	32.0	54.5	11.3	2.2	3.22	35.3	53.0	9.8	1.8	3.22	35.9	52.1	10.0	1.9	3.18	33.4	52.3	12.6	1.6																				
		○ 11	いじめへの対応																																								
		○ 11	健康な身体づくり	3.09	27.8	55.7	14.0	2.5	3.16	31.5	54.8	12.4	1.3	3.21	34.9	52.6	11.2	1.3	3.21	34.7	52.5	11.4	1.4																				
生徒指導・生徒支援	学校間連携	○ 12	中高大連携事業の実践	2.94	25.2	48.2	21.9	4.7	2.99	26.3	50.2	20.0	3.5	2.99	27.6	48.2	20.2	4.1	3.01	27.0	50.4	19.7	2.9																				
		13	指導方針の一貫性	3.01	27.1	52.1	15.8	5.0	3.04	26.2	55.3	15.0	3.5	3.03	26.4	54.6	15.0	4.0	3.05	27.5	53.1	15.7	3.7																				
		14	家庭との連携状況	2.65	15.2	42.8	33.8	8.2	2.76	16.6	49.0	28.8	5.7	2.76	17.3	47.7	28.8	6.1	2.78	17.9	47.3	29.7	5.1																				
		○ 15	カウンセリング体制	2.09	16.5	18.4	24.7	40.4	2.52	27.0	25.2	21.5	26.2	2.53	25.3	26.4	24.0	24.4	2.56	26.1	27.7	25.2	21.0																				
		16	進路指導体制	2.71	18.3	43.7	29.0	9.0	2.82	21.3	46.7	24.8	7.2	2.83	22.1	46.2	24.5	7.2	2.86	22.6	47.4	23.7	6.4																				
		17	部活動支援状況	2.87	25.0	45.3	21.7	8.0	2.99	28.4	47.7	19.2	4.8	3.05	33.2	44.7	15.8	6.3	3.09	34.2	44.2	17.6	3.9																				
		18	学校行事指導体制	3.01	25.6	53.7	17.2	3.5	3.08	28.3	53.9	15.7	2.2	3.11	31.4	50.9	15.0	2.7	3.13	31.1	52.7	14.1	2.0																				
		19	教員の研修活動	2.76	17.1	50.2	24.3	8.5	2.86	21.3	49.5	23.1	6.1	2.85	20.1	50.2	24.1	5.6	2.81	18.6	50.3	24.0	7.1																				
		20	窓口対応	3.21	37.5	49.7	9.0	3.8	3.28	42.1	47.0	8.1	2.8	3.30	43.1	46.1	7.9	2.8	3.26	38.8	50.4	8.4	2.4																				
		その他																																									

注：○は併設校共通項目

2.91

3.00

2.99

評価基準について A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

平成26年(2014)年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(中学校) — 学年比較 — 【資料2-3】

分類		大項目		小項目		中学校																			
						1学年				2学年				3学年				全体							
						評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D					
学校生活	満足度	○ 1	3.31	50.0	37.0	6.5	6.5	3.12	40.0	36.7	18.3	5.0	5.0	3.16	43.6	35.5	14.5	6.4	3.19	44.4	36.4	13.3	5.9		
		○ 2	3.09	32.7	46.7	17.8	2.8	2.8	2.90	30.3	38.7	21.8	9.2	9.2	2.90	30.3	38.7	21.8	9.2	2.98	30.7	43.0	19.7	6.6	
学校運営	私学の独自性 情報公開 危機管理	○ 3	3.09	29.9	52.3	15.0	2.8	2.8	3.01	26.7	50.0	20.8	2.5	2.5	3.07	26.7	50.0	20.8	2.5	3.06	29.1	50.7	17.5	2.7	
		○ 4	2.95	20.6	57.9	17.8	3.7	3.7	2.68	18.3	45.0	22.5	14.2	14.2	2.73	18.3	45.0	22.5	14.2	2.84	20.0	52.5	18.5	9.0	
		5	3.11	32.7	52.3	8.4	6.5	6.5	2.95	28.6	43.7	21.8	5.9	5.9	2.97	28.6	43.7	21.8	5.9	2.99	29.9	46.6	16.4	7.2	
		○ 6	2.89	19.4	53.7	23.1	3.7	3.7	2.81	22.0	42.4	29.7	5.9	5.9	2.77	22.0	42.4	29.7	5.9	2.84	21.0	47.6	26.0	5.4	
		○ 7	2.76	19.8	48.1	20.8	11.3	11.3	2.52	13.4	36.1	39.5	10.9	10.9	2.63	13.4	36.1	39.5	10.9	2.71	19.5	42.6	26.7	11.1	
		○ 8	2.59	14.8	40.7	33.3	11.1	11.1	2.46	12.7	37.3	33.1	16.9	4.2	4.2	2.99	12.7	37.3	33.1	16.9	2.63	18.0	41.0	26.6	14.4
教育内容	知育	○ 9	2.83	24.1	42.6	25.9	7.4	7.4	2.80	21.7	43.3	28.3	6.7	6.7	2.91	21.7	43.3	28.3	6.7	2.85	23.1	45.4	24.9	6.5	
		○ 10	3.15	36.1	45.4	15.7	2.8	2.8	2.92	21.7	52.5	21.7	4.2	4.2	2.99	21.7	52.5	21.7	4.2	2.97	26.5	48.8	19.9	4.8	
		○ 11	3.10	31.5	50.9	13.9	3.7	3.7	2.98	22.5	57.5	15.8	4.2	4.2	3.01	22.5	57.5	15.8	4.2	2.96	25.2	51.6	17.2	5.9	
		○ 12	3.26	38.9	49.1	11.1	0.9	0.9	3.12	30.8	52.5	14.2	2.5	2.5	3.19	30.8	52.5	14.2	2.5	3.18	34.3	51.8	11.8	2.1	
生徒指導・生徒支援	学校間連携 生徒指導 カウンセリング 進路指導 生徒会活動	○ 13	2.88	21.5	50.5	22.4	5.6	5.6	2.85	22.5	48.3	20.8	8.3	8.3	2.91	22.5	48.3	20.8	8.3	2.91	24.1	49.7	19.3	6.8	
		14	2.94	25.2	50.5	17.8	6.5	6.5	2.70	18.3	43.3	28.3	10.0	10.0	2.75	18.3	43.3	28.3	10.0	2.78	20.3	47.2	22.4	10.1	
		15	2.92	22.2	52.8	19.4	5.6	5.6	2.81	20.8	45.8	26.7	6.7	6.7	2.82	20.8	45.8	26.7	6.7	2.81	20.2	48.1	24.3	7.4	
		○ 16	2.68	33.6	26.2	16.8	23.4	23.4	2.73	38.1	22.9	15.3	23.7	23.7	2.78	38.1	22.9	15.3	23.7	2.76	37.0	25.9	15.4	21.7	
		17	2.45	4.7	50.5	29.9	15.0	15.0	2.49	10.8	40.8	35.0	13.3	13.3	2.54	10.8	40.8	35.0	13.3	2.49	10.1	43.8	31.5	14.6	
		18	2.85	24.3	47.7	19.6	8.4	8.4	2.51	15.0	39.2	27.5	18.3	18.3	2.51	15.0	39.2	27.5	18.3	2.67	20.2	41.4	24.1	14.3	
教員研修	教員の研修活動	19	3.17	37.0	43.5	18.5	0.9	0.9	2.93	21.7	55.0	17.5	5.8	5.8	2.98	21.7	55.0	17.5	5.8	3.04	27.0	53.7	15.7	3.6	
		○ 20	2.74	18.9	46.2	27.4	7.5	7.5	2.49	13.4	37.8	35.3	13.4	13.4	2.53	13.4	37.8	35.3	13.4	2.60	15.9	41.7	30.0	12.3	
その他	窓口対応	21	3.42	49.1	44.3	6.6	0.0	0.0	3.20	39.5	44.5	12.6	3.4	3.4	3.21	39.5	44.5	12.6	3.4	3.30	42.5	46.4	9.6	1.5	
		2014年度平均	2.96						2.81						2.85						2.88				
		2013年度平均	2.91						2.94						2.87						2.91				
		2012年度平均	3.14					3.00						3.00						3.05					



平成26年(2014)年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート 一 高中別一 【資料2②】

小項目	設 問 (生徒対象) 20項目	高等学校全体					中学校全体				
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	3.25	44.3	39.9	12.0	3.8	3.20	43.0	39.0	13.1	4.9
2	学校生活は楽しいと感じていますか。 本校に入学して良かったと思いますか。	2.94	31.7	39.2	20.3	8.8	2.86	25.1	44.7	21.3	8.8
3	教育方針・教育目標	2.60	16.1	40.6	30.9	12.3	2.65	14.1	47.8	27.3	10.9
4	HPの活用	2.60	16.1	43.0	25.5	15.5	2.74	23.0	40.1	25.3	11.6
5	初動対応	2.86	22.9	47.0	23.5	6.6	2.83	24.1	44.6	21.4	9.9
6	避難訓練や安全対策	2.90	25.3	45.8	22.4	6.6	2.92	27.0	46.4	18.8	7.8
7	学力向上における組織的な取組	2.73	20.0	42.4	28.7	8.9	2.80	21.2	45.8	25.2	7.8
8	スローラーナーへの対応	2.76	22.2	40.4	28.5	8.8	3.03	33.9	42.0	17.1	7.0
9	保護者との連携	2.96	29.7	43.9	19.1	7.3	3.03	35.5	39.2	18.3	7.0
10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.92	27.7	45.1	19.1	8.1	2.78	22.2	42.9	25.4	9.6
11	いじめへの対応	2.79	23.2	43.1	23.4	10.3	2.63	16.5	43.8	25.8	13.9
12	健康な身体づくり	3.08	31.8	48.3	16.0	3.9	3.05	32.7	46.4	14.9	6.1
13	中高大連携事業の実践	2.91	28.8	42.5	19.5	9.1	3.18	40.6	42.6	11.0	5.8
14	指導方針の一貫性	2.95	27.0	48.1	17.5	7.4	2.97	27.2	49.0	17.4	6.4
15	家庭との連携状況	2.78	22.9	42.3	25.0	9.8	2.85	26.2	42.3	23.0	8.5
16	カウンセリング体制	2.74	31.9	31.1	16.7	20.3	2.88	38.6	27.0	18.3	16.2
17	進路指導体制	2.87	25.8	44.0	21.0	9.1	2.66	18.4	42.6	26.5	12.5
18	部活動支援状況	3.02	32.6	44.4	15.2	7.7	2.65	21.3	39.1	23.0	16.6
19	学校行事指導体制	3.14	38.4	43.2	12.2	6.2	3.08	35.3	42.0	18.4	4.4
20	校内外における教員研修	2.86	27.3	42.2	19.9	10.7	2.68	20.1	41.9	24.4	13.7
21	学習環境	3.34	51.5	35.1	9.5	3.9	3.12	42.1	34.9	17.0	6.0

評価平均 2014年度 2.90  
 2013年度 2.87  
 2012年度 2.82  
 2011年度 2.89



2014年度 学校評価 (生徒対象)アンケート (高校) —3カ年の推移—

【資料2-6】

分類	大項目	NO	小項目	2012年度			2013年度			2014年度			学年別評価			学年別評価											
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年								
				学校生活	満足度	1	学園生活	3.26	44.4	41.5	9.3	4.8	3.29	3.20	3.28	3.23	44.7	38.9	11.4	5.0	3.07	3.25	3.37	3.25	44.3	39.9	12.0
学校運営	私学の独自性	2	教育方針・教育目標	2.91	26.8	45.7	19.6	7.9	2.96	2.81	2.99	2.98	30.5	44.6	17.1	7.8	2.84	2.93	3.16	2.94	31.7	39.2	20.3	8.8	2.69	2.93	3.25
		3	HPの活用	2.76	17.2	49.9	25.0	8.0	2.93	2.72	2.67	2.64	15.8	44.7	27.7	11.9	2.65	2.64	2.63	2.60	16.1	40.6	30.9	12.3	2.34	2.72	2.78
		4	初動対応	2.52	12.6	41.2	31.5	14.7	2.61	2.51	2.44	2.50	13.2	40.0	30.0	16.8	2.41	2.52	2.56	2.60	16.1	43.0	25.5	15.5	2.33	2.68	2.82
		5	避難訓練や安全対策	2.81	17.8	52.3	22.9	7.0	2.94	2.75	2.76	2.79	18.7	49.5	23.8	7.9	2.77	2.75	2.85	2.86	22.9	47.0	23.5	6.6	2.65	2.94	3.01
教育内容	知育	6	学力向上における組織的な取組	2.78	19.8	45.3	28.5	6.5	2.85	2.73	2.78	2.91	24.8	47.1	22.0	6.1	2.79	2.95	2.98	2.90	25.3	45.8	22.4	6.6	2.63	2.99	3.10
		7	スローラーナーへの対応	2.74	18.7	46.0	26.2	9.1	2.87	2.71	2.66	2.74	16.5	49.3	25.6	8.6	2.67	2.70	2.85	2.73	20.0	42.4	28.7	8.9	2.46	2.82	2.95
		8	保護者との連携	2.73	19.4	44.4	26.6	9.6	3.01	2.62	2.62	2.69	19.7	40.6	29.1	10.6	2.83	2.54	2.71	2.76	22.2	40.4	28.5	8.8	2.56	2.83	2.92
		9	社会規範の理解とモラルの醸成	2.91	25.6	46.1	21.6	6.7	3.09	2.87	2.79	2.92	27.6	43.3	22.6	6.4	2.97	2.92	2.88	2.96	29.7	43.9	19.1	7.3	2.72	3.05	3.13
生徒指導・生徒支援	学校間連携	10	いじめへの対応	2.89	23.4	49.4	20.4	6.9	3.05	2.83	2.83	2.92	25.6	47.8	19.9	6.7	2.88	2.89	3.00	2.92	27.7	45.1	19.1	8.1	2.68	3.00	3.12
		11	健康な身体づくり	2.90	25.3	46.0	22.6	6.1	3.16	2.84	2.74	3.03	29.9	47.6	17.7	4.8	3.06	3.08	2.94	2.79	23.2	43.1	23.4	10.3	2.58	2.86	2.96
		12	中高大連携事業の実践	2.74	21.6	42.4	23.8	12.1	3.02	2.72	2.51	2.83	25.7	41.6	22.6	10.2	2.89	2.76	2.84	3.08	31.8	48.3	16.0	3.9	2.90	3.16	3.17
		13	指導方針の一貫性	2.86	23.0	48.0	21.4	7.7	3.00	2.84	2.77	2.98	27.8	47.9	18.5	5.8	2.99	2.96	2.99	2.95	27.0	48.1	17.5	7.4	2.72	3.04	3.11
教員研修	校内環境	14	家庭との連携状況	2.63	15.4	43.2	30.9	10.5	2.78	2.56	2.59	2.70	18.1	43.4	29.3	9.2	2.62	2.75	2.74	2.78	22.9	42.3	25.0	9.8	2.45	2.88	3.06
		15	カウンセリング体制	2.89	34.1	54.6	17.1	14.1	2.76	2.96	2.92	2.74	31.3	29.9	20.1	18.7	2.51	2.69	3.01	2.74	31.9	31.1	16.7	20.3	2.32	2.84	3.13
		16	進路指導体制	2.84	23.5	46.0	21.8	8.7	2.96	2.77	2.82	2.84	23.4	46.1	22.1	8.5	2.79	2.88	2.87	2.87	25.8	44.0	21.0	9.1	2.58	2.95	3.11
		17	部活動支援状況	2.86	25.7	44.2	20.7	9.5	3.02	2.79	2.80	2.98	32.0	42.7	16.5	8.8	2.91	3.03	2.99	3.02	32.6	44.4	15.2	7.7	2.77	3.07	3.25
その他	教員の研修活動	18	学校行事指導体制	2.99	30.9	44.8	16.9	7.4	3.17	2.93	2.89	3.11	35.2	45.9	13.6	5.3	3.10	3.12	3.10	3.14	38.4	43.2	12.2	6.2	2.92	3.22	3.29
		19	教員研修体制	2.61	14.9	44.1	28.7	12.3	2.73	2.60	2.53	2.85	23.9	45.5	22.1	8.5	2.83	2.88	2.83	2.86	27.3	42.2	19.9	10.7	2.48	3.01	3.12
		20	学習環境	2.68	20.3	41.5	23.7	14.6	2.80	2.63	2.62	3.08	37.8	39.7	15.3	7.2	3.13	3.06	3.05	3.34	51.5	35.1	9.5	3.9	3.29	3.37	3.36

注：○は併設校共通項目

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

平成26年(2014)年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート(中学校) — 1学年比較 — 【資料2-7】

分類	大項目	NO	小項目	中学校																				
				1学年				2学年				3学年				全体								
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D						
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.23	49.1	31.5	13.0	6.5	3.16	41.8	37.7	14.8	5.7	3.22	38.6	47.4	11.4	2.6	3.20	43.0	39.0	13.1	4.9	
		○ 2		3.01	32.7	44.9	13.1	9.3	2.72	22.8	38.2	27.6	11.4	2.88	25.1	44.7	21.3	8.8	2.86	25.1	44.7	21.3	8.8	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.73	17.0	47.2	27.4	8.5	2.65	15.7	46.3	25.6	12.4	2.58	14.1	47.8	27.3	10.9	2.65	14.1	47.8	27.3	10.9	
		○ 4		情報公開	2.85	29.0	38.3	21.5	11.2	2.69	22.8	37.4	26.0	13.8	2.70	23.0	40.1	25.3	11.6	2.74	23.0	40.1	25.3	11.6
	危機管理	5	初動対応	2.94	30.6	43.5	14.8	11.1	2.78	22.0	44.7	22.8	10.6	2.78	24.1	44.6	21.4	9.9	2.83	24.1	44.6	21.4	9.9	
		○ 6		避難訓練や安全対策	2.88	28.7	41.7	18.5	11.1	2.89	26.0	43.9	22.8	7.3	3.01	27.0	46.4	18.8	7.8	2.92	27.0	46.4	18.8	7.8
	教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.92	28.7	41.7	22.2	7.4	2.73	15.4	52.0	22.8	9.8	2.77	21.2	45.8	25.2	7.8	2.80	21.2	45.8	25.2	7.8
			○ 8		スローラーナーへの対応	3.11	45.4	31.5	12.0	11.1	2.84	22.0	48.0	22.0	8.1	3.16	33.9	42.0	17.1	7.0	3.03	33.9	42.0	17.1
○ 9		保護者との連携	3.11	40.7	37.0	14.8	7.4	2.93	29.5	41.8	21.3	7.4	3.06	35.5	39.2	18.3	7.0	3.03	35.5	39.2	18.3	7.0		
徳育		○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.79	24.1	42.6	21.3	12.0	2.69	17.4	43.8	29.8	9.1	2.85	22.2	42.9	25.4	9.6	2.78	22.2	42.9	25.4	9.6	
		○ 11	いじめへの対応	2.63	21.3	36.1	26.9	15.7	2.56	13.0	48.0	21.1	17.9	2.70	16.5	43.8	25.8	13.9	2.63	16.5	43.8	25.8	13.9	
体育		○ 12	健康な身体づくり	3.13	38.0	43.5	12.0	6.5	2.99	29.5	46.7	17.2	6.6	3.03	32.7	46.4	14.9	6.1	3.05	32.7	46.4	14.9	6.1	
		○ 13	中高大連携事業の実践	3.19	43.5	38.0	12.0	6.5	3.15	39.8	43.1	9.8	7.3	3.20	40.6	42.6	11.0	5.8	3.18	40.6	42.6	11.0	5.8	
生徒指導・生徒支援	生徒指導	14	指導方針の一貫性	3.03	32.4	41.7	22.2	3.7	2.89	22.8	52.0	17.1	8.1	3.00	27.2	49.0	17.4	6.4	2.97	27.2	49.0	17.4	6.4	
		15	家庭との連携状況	2.94	33.3	37.0	19.4	10.2	2.81	23.6	43.1	24.4	8.9	2.82	26.2	42.3	23.0	8.5	2.85	26.2	42.3	23.0	8.5	
	○ 16	カウンセリング	2.91	48.1	15.7	14.8	21.3	2.62	26.8	29.3	22.8	21.1	3.13	38.6	27.0	18.3	16.2	2.88	38.6	27.0	18.3	16.2		
	17	進路指導	2.64	17.8	41.1	28.0	13.1	2.59	15.4	43.9	25.2	15.4	2.75	18.4	42.6	26.5	12.5	2.66	18.4	42.6	26.5	12.5		
	18	生徒会活動	2.70	27.8	31.5	24.1	16.7	2.59	19.5	38.2	24.4	17.9	2.66	21.3	39.1	23.0	16.6	2.65	21.3	39.1	23.0	16.6		
教員研修	教員の研修活動	19	学校行事指導体制	3.17	38.9	42.6	14.8	3.7	2.98	31.4	42.1	19.0	7.4	3.11	35.3	42.0	18.4	4.4	3.08	35.3	42.0	18.4	4.4	
		○ 20	教員研修体制	2.75	25.9	36.1	25.0	13.0	2.66	16.4	48.4	19.7	15.6	2.65	20.1	41.9	24.4	13.7	2.68	20.1	41.9	24.4	13.7	
その他	校内環境	21	学習環境	3.29	50.0	32.7	13.5	3.8	2.92	34.5	32.8	22.7	10.1	3.19	42.1	34.9	17.0	6.0	3.12	42.1	34.9	17.0	6.0	

2014年度 2.95 2.80 2.89  
 2013年度 2.93 2.87 2.80  
 2012年度 2.98 2.88 2.93

2014年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) —3カ年の推移—

【資料2-8】

分類	大項目	NO	小項目	2012年度(全学年)				2013年度(全学年)				2014年度(全学年)				学年別評価												
				評価		評価		評価		評価		評価		評価		1年	2年	3年										
				A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	評価	A	B	C	D								
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.21	44.3	38.6	11.1	6.0	3.27	3.21	3.21	3.06	34.2	44.4	14.2	7.1	3.17	3.13	2.85	3.20	43.0	39.0	13.1	4.9	3.23	3.16	3.22	
		○ 2		3.02	32.8	42.5	19.0	5.7	3.12	2.94	3.02	2.85	27.7	40.5	21.1	10.7	3.01	2.81	2.73	2.86	25.1	44.7	21.3	8.8	3.01	2.72	2.88	
学校運営	私学の独自性 情報公開 危機管理	○ 3	教育方針・教育目標	2.76	18.2	47.6	26.7	7.6	2.79	2.68	2.82	2.54	12.2	43.6	30.3	13.9	2.76	2.54	2.30	2.65	14.1	47.8	27.3	10.9	2.73	2.65	2.58	
		○ 4	HPの活用	2.87	27.8	40.8	22.1	9.4	2.90	2.91	2.80	2.53	17.9	36.4	26.7	19.0	2.78	2.66	2.12	2.74	23.0	40.1	25.3	11.6	2.85	2.69	2.70	
		5	初動対応	2.90	27.4	43.2	21.6	7.9	3.02	2.91	2.77	2.66	19.2	41.8	24.5	14.6	2.78	2.68	2.50	2.83	24.1	44.6	21.4	9.9	2.94	2.78	2.78	
		○ 6	避難訓練や安全対策	2.95	29.2	41.9	23.8	5.1	2.88	2.95	3.03	2.87	26.9	44.3	18.0	10.8	2.93	2.96	2.71	2.92	27.0	46.4	18.8	7.8	2.88	2.89	3.01	
		○ 7	学力向上における組織的な取組	2.84	22.1	45.2	27.0	5.8	2.89	2.77	2.85	2.76	21.5	45.3	20.4	12.7	2.94	2.75	2.57	2.80	21.2	45.8	25.2	7.8	2.92	2.73	2.77	
		○ 8	スローラーナーへの対応	3.10	39.2	38.3	15.7	6.9	3.13	3.12	3.04	3.03	36.8	39.3	13.7	10.2	3.10	3.11	2.86	3.03	33.9	42.0	17.1	7.0	3.11	2.84	3.16	
教育内容	徳 育	○ 9	保護者との連携	3.06	37.2	38.7	17.5	6.6	3.16	2.99	3.04	3.05	36.5	39.0	17.0	7.4	3.23	3.10	2.78	3.03	35.5	39.2	18.3	7.0	3.11	2.93	3.06	
		○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.91	28.2	43.6	19.3	8.9	2.88	2.94	2.92	2.82	25.9	42.4	19.8	11.8	2.93	2.91	2.62	2.78	22.2	42.9	25.4	9.6	2.79	2.69	2.85	
生徒指導・生徒支援	体 育 学校間連携 生徒指導 カウンセリング 進路指導 生徒会活動 教員の研修活動 校内環境	○ 11	いじめへの対応																									
		○ 12	健康な身体づくり	3.10	34.5	45.3	15.5	4.7	3.17	3.06	3.06	2.96	32.0	42.8	14.6	10.5	3.05	3.02	2.81	3.05	32.7	46.4	14.9	6.1	3.13	2.99	3.03	
		○ 13	中高大連携事業の実践	3.14	37.5	42.6	16.0	3.9	3.04	3.24	3.14	3.02	33.4	43.0	16.2	7.4	3.15	3.03	2.88	3.18	40.6	42.6	11.0	5.8	3.19	3.15	3.20	
		14	指導方針の一貫性	3.03	32.0	44.2	18.6	5.2	3.25	2.95	2.89	2.95	33.4	38.9	16.7	11.0	3.19	3.07	2.55	2.97	27.2	49.0	17.4	6.4	3.03	2.89	3.00	
		15	家庭との連携状況	2.73	21.5	39.0	30.5	9.1	2.80	2.70	2.68	2.73	22.3	40.9	24.5	12.4	2.90	2.85	2.42	2.85	26.2	42.3	23.0	8.5	2.94	2.81	2.82	
		○ 16	カウンセリング体制	3.08	48.5	24.7	13.3	13.6	3.03	3.14	3.08	2.74	37.1	23.6	15.7	23.6	2.30	2.99	2.95	2.88	38.6	27.0	18.3	16.2	2.91	2.62	3.13	
		17	進路指導体制	2.60	14.8	45.0	26.0	14.2	2.65	2.45	2.71	2.61	18.7	39.9	24.5	16.8	2.81	2.63	2.37	2.66	18.4	42.6	26.5	12.5	2.64	2.59	2.75	
		18	部活動支援状況	2.74	24.5	39.9	21.1	14.5	2.87	2.53	2.83	2.56	21.6	35.6	20.3	22.5	2.70	2.64	2.34	2.65	21.3	39.1	23.0	16.6	2.70	2.59	2.66	
		19	学校行事指導体制	3.06	37.0	39.7	16.1	7.3	3.22	2.97	3.00	2.90	32.8	37.5	16.5	13.2	3.11	3.02	2.53	3.08	35.3	42.0	18.4	4.4	3.17	2.98	3.11	
		○ 20	教員の研修活動	2.55	16.3	38.0	30.1	15.7	2.55	2.42	2.68	2.53	18.3	37.5	22.8	21.4	2.72	2.55	2.30	2.68	20.1	41.9	24.4	13.7	2.75	2.66	2.65	
		○ 21	学習環境	2.84	31.7	34.2	20.8	13.4	2.91	2.65	2.95	2.92	36.3	33.8	14.9	14.9	3.07	3.00	2.65	3.12	42.1	34.9	17.0	6.0	3.29	2.92	3.19	

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

コース別学校評価(高1)

【資料2-9】

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	全体
高校1年生全体																							
	平均値	3.09	2.69	2.34	2.33	2.65	2.63	2.46	2.56	2.72	2.68	2.58	2.90	2.74	2.72	2.45	2.32	2.58	2.77	2.92	2.48	3.29	2.66
	A	33.2	19.4	6.5	8.2	14.9	17.1	9.3	14.9	21.1	18.0	16.6	23.9	22.8	17.1	11.6	19.9	16.1	23.9	30.2	12.7	51.6	
	B	46.8	41.9	36.3	39.0	44.9	39.9	39.8	37.9	39.9	43.0	38.2	49.0	39.7	47.8	36.8	26.1	39.4	40.8	41.8	41.4	31.3	
	C	15.8	26.7	41.4	30.2	30.6	32.0	38.4	35.1	29.5	28.4	32.3	20.6	25.9	25.0	36.5	19.7	31.0	23.7	17.8	26.9	12.1	
	D	4.2	12.1	15.8	22.6	9.6	11.0	12.4	12.1	9.6	10.7	12.9	6.5	11.5	10.1	15.0	34.3	13.5	11.5	10.2	19.0	5.0	
高1特進コース(内部特進A~C)																							
	平均値	2.79	2.16	2.20	2.15	2.35	2.52	2.43	2.63	2.73	2.44	2.30	2.66	2.81	2.38	2.36	3.06	2.43	2.40	2.40	2.08	2.74	2.48
	A	17.6	4.6	3.7	7.5	7.4	11.1	9.3	13.9	19.4	7.4	6.5	15.0	25.0	9.3	11.2	40.7	13.0	10.2	12.1	4.7	23.5	
	B	50.9	30.6	32.4	30.8	36.1	38.9	38.0	46.3	44.4	43.5	34.3	46.7	40.7	38.0	29.0	32.4	32.4	36.1	36.4	30.8	37.3	
	C	24.1	40.7	44.4	30.8	40.7	40.7	38.9	28.7	25.9	34.3	41.7	28.0	25.0	34.3	44.9	19.4	38.9	37.0	30.8	32.7	28.4	
	D	7.4	24.1	19.4	30.8	15.7	9.3	13.9	11.1	10.2	14.8	17.6	10.3	9.3	18.5	15.0	7.4	15.7	16.7	20.6	31.8	10.8	
高1特進コース(外部特進 D)																							
	平均値	3.16	2.66	2.27	2.26	2.71	2.50	2.62	2.89	2.71	2.58	2.74	2.79	2.74	2.76	2.53	2.50	2.74	2.76	2.92	2.59	3.47	2.71
	A	42.1	23.7	5.4	7.9	18.4	13.2	13.5	23.7	21.1	18.4	21.1	21.1	18.4	15.8	7.9	23.7	18.4	18.4	32.4	13.5	58.3	
	B	36.8	28.9	35.1	34.2	42.1	42.1	40.5	50.0	34.2	31.6	44.7	44.7	47.4	55.3	47.4	31.6	50.0	50.0	40.5	51.4	36.1	
	C	15.8	36.8	40.5	34.2	31.6	26.3	40.5	18.4	39.5	39.5	21.1	26.3	23.7	18.4	34.2	15.8	18.4	21.1	13.5	16.2	0.0	
	D	5.3	10.5	18.9	23.7	7.9	18.4	5.4	7.9	5.3	10.5	13.2	7.9	10.5	10.5	10.5	28.9	13.2	10.5	13.5	18.9	5.6	
高1文理コース(E~H)																							
	平均値	3.20	2.91	2.49	2.49	2.84	2.62	2.55	2.48	2.73	2.84	2.62	3.01	2.93	2.90	2.51	1.93	2.68	2.98	3.21	2.71	3.55	2.77
	A	37.3	23.0	8.1	9.0	18.5	15.6	9.6	11.9	21.5	22.2	14.8	25.9	29.1	20.7	12.8	8.1	16.4	32.1	37.8	17.9	64.8	
	B	47.8	50.4	41.5	45.5	51.1	40.7	43.7	34.1	39.3	46.7	42.2	52.6	39.6	52.6	37.6	23.0	44.0	41.0	48.1	45.5	27.3	
	C	12.7	21.5	41.5	31.3	25.9	34.1	38.5	44.4	30.4	24.4	33.3	17.8	26.1	23.0	37.6	22.2	30.6	19.4	11.9	26.1	6.3	
	D	2.2	5.2	8.9	14.2	4.4	9.6	8.1	9.6	8.9	6.7	9.6	3.7	5.2	3.7	12.0	46.7	9.0	7.5	2.2	10.4	1.6	
高1スポーツコース(I~J)																							
	平均値	3.29	2.44	2.30	2.24	2.51	2.51	2.58	2.74	2.80	2.59	2.49	2.77	2.89	2.65	2.52	2.85	2.57	2.60	2.64	2.41	3.05	2.64
	A	44.0	32.0	8.0	8.0	17.3	30.7	6.8	17.3	22.7	25.3	32.0	34.7	10.7	22.7	12.0	9.3	18.7	32.0	41.3	14.7	64.4	
	B	44.0	49.3	33.3	41.3	48.0	38.7	35.1	26.7	37.3	41.3	33.3	48.0	34.7	49.3	41.3	20.0	36.0	42.7	38.7	44.0	27.4	
	C	9.3	10.7	37.3	25.3	24.0	18.7	36.5	36.0	28.0	21.3	22.7	12.0	28.0	18.7	24.0	17.3	26.7	13.3	12.0	25.3	5.5	
	D	2.7	8.0	21.3	25.3	10.7	12.0	21.6	20.0	12.0	12.0	12.0	5.3	26.7	9.3	22.7	53.3	18.7	12.0	8.0	16.0	2.7	

コース別学校評価(高2)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	全体
高校2年生全体																						
平均値	3.22	2.93	2.72	2.68	2.94	2.99	2.82	2.83	3.05	3.00	2.86	3.16	3.01	3.04	2.88	2.84	2.95	3.07	3.22	3.01	3.37	2.98
割合	A	42.6	29.3	17.4	15.8	24.1	21.5	23.1	32.4	27.5	23.3	33.2	29.4	29.5	23.3	33.7	25.9	32.1	39.6	30.0	51.1	
	B	40.8	42.7	46.5	47.2	49.5	45.9	43.8	46.4	50.4	48.4	51.7	47.8	50.0	47.7	32.9	49.0	49.0	46.9	46.7	37.2	
	C	12.2	19.9	26.8	25.9	23.1	18.4	26.2	15.5	16.4	19.4	13.2	17.4	15.0	22.5	18.3	19.2	13.0	9.6	17.8	9.0	
	D	4.4	8.0	9.4	11.1	3.4	4.4	6.5	5.7	5.7	8.8	1.8	5.5	5.4	6.5	15.1	6.0	6.0	3.9	5.5	2.7	
高2特進コース(アドバンスA)																						
平均値	3.37	3.06	3.06	2.83	3.14	3.31	3.34	3.14	3.11	3.03	2.86	3.43	3.23	3.14	3.03	3.21	3.20	3.20	3.51	3.34	3.45	3.19
割合	A	54.3	40.0	25.7	14.3	25.7	45.7	37.1	37.1	31.4	28.6	48.6	42.9	40.0	28.6	47.1	37.1	40.0	60.0	51.4	60.6	
	B	31.4	37.1	57.1	57.1	62.9	40.0	45.7	42.9	42.9	37.1	45.7	40.0	37.1	45.7	35.3	48.6	42.9	34.3	34.3	27.3	
	C	11.4	11.4	14.3	25.7	11.4	14.3	5.7	17.1	14.3	22.9	5.7	14.3	20.0	25.7	8.8	11.4	14.3	2.9	11.4	9.1	
	D	2.9	11.4	2.9	2.9	0.0	2.9	2.9	5.7	2.9	8.6	0.0	2.9	2.9	0.0	8.8	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	
高2特進コース(文系B~C)																						
平均値	3.24	2.93	2.80	2.61	2.86	3.01	2.87	2.95	3.05	3.10	2.93	3.11	3.08	3.17	3.04	3.25	3.12	3.16	3.30	3.15	3.45	3.06
割合	A	42.7	26.5	20.7	21.7	25.3	28.9	24.1	27.7	30.1	27.7	30.1	33.7	34.9	30.1	50.6	34.9	37.3	44.6	39.5	57.5	
	B	42.7	45.8	47.6	33.7	38.6	42.2	44.6	47.0	49.4	45.8	50.6	47.0	48.2	47.0	28.9	43.4	47.0	42.2	40.7	32.5	
	C	11.0	21.7	23.2	28.9	32.5	18.1	30.1	22.9	13.3	18.1	19.3	13.3	15.7	19.3	15.7	20.5	9.6	12.0	14.8	7.5	
	D	3.7	6.0	8.5	15.7	3.6	4.8	3.6	2.4	4.8	8.4	0.0	6.0	1.2	3.6	4.8	1.2	6.0	1.2	4.9	2.5	
高2特進コース(理系D)																						
平均値	3.20	2.34	2.49	2.66	2.94	2.89	2.60	2.74	3.09	2.66	2.71	3.03	3.06	2.63	2.71	3.00	2.80	2.77	3.09	2.91	3.11	2.83
割合	A	40.0	8.6	5.7	8.6	14.3	8.6	17.1	25.7	11.4	17.1	20.0	22.9	8.6	17.1	40.0	11.4	17.1	28.6	20.0	40.0	
	B	42.9	37.1	45.7	57.1	65.7	45.7	45.7	57.1	54.3	42.9	65.7	62.9	57.1	42.9	34.3	62.9	57.1	57.1	57.1	37.1	
	C	14.3	34.3	40.0	25.7	20.0	20.0	42.9	31.4	17.1	22.9	34.3	11.4	11.4	22.9	34.3	11.4	20.0	11.4	8.6	17.1	
	D	2.9	20.0	8.6	8.6	0.0	2.9	2.9	5.7	0.0	11.4	5.7	2.9	11.4	5.7	14.3	5.7	14.3	5.7	5.7	5.7	
高2文理コース(理系E)																						
平均値	3.11	2.77	2.74	2.66	2.80	2.80	3.00	2.71	2.83	2.86	2.71	3.00	3.06	2.89	2.71	2.60	2.89	2.89	2.89	2.94	3.17	2.86
割合	A	40.0	25.7	20.0	17.1	14.3	28.6	22.9	20.0	25.7	20.0	22.9	31.4	25.7	17.1	20.0	25.7	28.6	25.7	25.7	45.7	
	B	40.0	42.9	45.7	48.6	54.3	48.6	40.0	54.3	51.4	48.6	62.9	51.4	51.4	48.6	40.0	48.6	42.9	51.4	51.4	34.3	
	C	11.4	14.3	22.9	17.1	20.0	17.1	22.9	14.3	5.7	14.3	5.7	8.6	8.6	22.9	20.0	14.3	17.1	8.6	14.3	11.4	
	D	8.6	17.1	11.4	17.1	8.6	5.7	14.3	11.4	17.1	17.1	8.6	8.6	14.3	11.4	20.0	11.4	11.4	14.3	8.6	8.6	
高2文理コース(文系F~H)																						
平均値	3.20	3.07	2.77	2.74	3.05	3.05	2.76	2.77	3.07	3.09	2.92	3.17	3.03	3.15	2.86	2.66	2.84	3.16	3.27	2.86	3.44	3.00
割合	A	41.5	33.1	18.6	19.5	30.5	29.7	19.5	22.0	33.9	30.8	34.2	28.8	34.7	23.7	27.6	22.0	33.1	40.7	24.8	50.4	
	B	40.7	44.1	48.3	44.1	47.5	49.2	45.8	41.5	45.8	49.6	50.4	48.3	50.8	46.6	31.0	48.3	53.4	46.6	42.7	43.4	
	C	14.4	19.5	24.6	27.1	18.6	17.8	26.3	28.0	13.6	17.1	14.4	13.7	20.3	9.3	21.2	23.3	21.2	10.2	11.9	26.5	6.2
	D	3.4	3.4	8.5	9.3	3.4	3.4	8.5	6.8	2.6	8.5	1.7	2.5	5.1	8.5	18.1	8.5	3.4	0.8	6.0	0.0	
高2スポーツコース(I~J)																						
平均値	3.19	3.01	2.50	2.60	2.85	2.88	2.66	2.73	3.10	2.96	2.84	3.23	2.76	2.93	2.83	2.58	2.91	3.01	3.15	3.03	3.34	2.91
割合	A	41.3	32.5	12.5	7.5	20.0	21.3	13.8	16.3	38.8	20.0	38.8	21.5	22.5	18.8	22.5	23.8	30.0	35.0	25.0	48.8	
	B	42.5	42.5	38.8	56.3	48.8	51.3	48.8	47.5	40.0	53.8	46.3	43.0	52.5	52.5	35.0	50.0	46.3	51.3	57.5	38.8	
	C	10.0	18.8	35.0	25.0	27.5	21.3	27.5	28.8	13.8	17.5	13.8	25.3	20.0	21.3	20.0	20.0	18.8	7.5	12.5	10.0	
	D	6.3	6.3	13.8	11.3	3.8	6.3	10.0	7.5	5.0	7.5	1.3	10.1	5.0	7.5	22.5	6.3	5.0	6.3	5.0	2.5	



2014年度 授業評価分析資料(教科別)

2014年10月中旬実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国語				社会				数学				理科				英語									
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D						
自己評価	3.11	3.21	3.30	3.33	3.31	3.35	3.32	3.28	3.04	3.08	3.18	3.17	3.24	3.33	3.35	3.24	3.14	3.25	3.28	3.25						
1	3.53	60.6	32.6	6.3	0.5	3.51	57.2	37.3	4.3	1.1	3.36	47.9	41.8	9.0	1.3	3.40	51.8	37.6	9.5	1.1	3.45	54.2	37.6	7.3	1.0	
2	3.42	53.8	36.3	8.4	1.5	3.52	61.7	30.0	7.1	1.1	3.21	40.5	40.0	16.4	3.0	3.35	52.0	33.4	12.7	2.0	3.30	46.6	39.4	11.2	2.7	
3	3.03	34.0	40.3	20.0	5.6	2.82	32.5	31.2	22.4	13.9	2.93	30.1	32.6	26.8	10.5	2.95	36.9	32.5	19.9	10.8	2.99	34.2	37.2	21.9	6.7	
授業評価	3.40	3.40	3.46	3.53	3.57	3.57	3.54	3.52	3.18	3.27	3.33	3.36	3.44	3.50	3.52	3.38	3.47	3.52	3.42							
4	3.61	68.9	24.8	4.1	2.1	3.62	71.8	20.4	5.5	2.3	3.44	58.3	30.1	9.0	2.7	3.52	63.4	26.9	7.6	2.1	3.55	66.0	25.2	6.6	2.2	
5	3.65	71.1	24.5	3.1	1.3	3.61	69.2	23.9	5.3	1.7	3.49	58.7	33.1	6.3	1.9	3.41	55.8	32.9	8.5	2.8	3.52	62.9	28.3	6.2	2.5	
6	3.50	61.0	29.4	7.9	1.7	3.52	63.6	28.0	5.6	2.8	3.28	52.1	28.7	14.9	4.3	3.28	48.4	35.8	10.8	4.9	3.37	54.4	32.2	9.8	3.6	
7	3.41	56.7	29.9	10.8	2.5	3.51	63.8	26.6	6.0	3.6	3.38	54.2	32.6	10.3	2.9	3.37	55.5	30.6	9.1	4.7	3.42	57.3	30.8	8.8	3.2	
8	3.59	64.8	29.9	4.1	1.1	3.60	67.7	26.6	3.4	2.3	3.45	57.3	32.4	8.3	2.0	3.39	55.1	32.0	9.6	3.3	3.47	59.9	30.3	7.2	2.6	
9	3.47	60.9	28.5	7.9	2.7	3.52	64.9	25.5	6.4	3.2	3.31	51.6	32.2	11.8	4.4	3.28	50.1	33.0	12.2	4.7	3.33	52.9	30.9	12.1	4.1	
10	3.54	61.7	32.7	4.0	1.6	3.55	65.7	26.9	4.3	3.0	3.47	58.4	32.2	8.0	1.5	3.43	56.7	32.0	8.3	2.9	3.48	59.0	31.9	6.8	2.3	
11	3.56	62.1	32.3	4.6	0.9	3.46	56.4	36.5	4.1	3.0	3.43	55.6	34.1	8.0	2.3	3.42	54.6	35.1	8.0	2.3	3.45	56.8	33.7	7.1	2.4	
12	3.57	65.2	28.1	4.9	1.7	3.70	74.5	21.8	2.8	0.9	3.43	55.6	34.1	8.0	2.3	3.26	48.5	33.7	13.4	4.4	3.52	61.8	30.2	6.1	1.9	
13	3.55	64.0	28.7	5.6	1.7	3.50	61.4	29.5	6.8	2.4	3.28	46.0	39.4	11.3	3.3	3.39	55.0	32.6	9.1	3.3	3.44	58.4	29.9	8.6	3.2	
14	3.43	52.3	39.8	6.3	1.6	3.37	56.0	29.9	8.8	5.3	3.10	39.7	36.9	17.4	6.0	3.27	47.5	37.3	9.8	5.4	3.23	47.7	34.3	11.9	6.1	
15	3.51	60.8	31.0	6.1	2.0	3.39	54.2	34.0	8.1	3.8	3.26	46.8	38.0	10.2	5.1	3.33	50.1	37.0	8.8	4.1	3.34	52.5	33.0	10.4	4.1	
16	3.48	56.8	36.6	4.5	2.0	3.48	60.0	31.0	6.0	3.1	3.30	47.8	37.4	11.6	3.2	3.33	49.3	38.4	8.6	3.6	3.36	52.7	33.7	10.3	3.3	

設問\評価	保健体育				芸術				情報				技術・家庭								
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
自己評価	3.23	3.32	3.56	3.59	3.27	3.10	3.36	2.90	3.49	3.50	3.63	3.61	3.42	3.38	3.44	3.30					
1	3.75	78.3	19.4	1.9	0.5	3.27	37.3	52.2	10.4	0.0	3.66	72.5	21.6	5.2	0.7	3.49	53.9	41.4	3.9	0.7	
2	3.67	72.7	23.3	2.8	1.2	3.07	28.4	50.7	20.9	0.0	3.64	70.4	23.7	5.3	0.7	3.41	49.3	43.4	5.9	1.3	
3	3.35	56.1	27.4	12.1	4.3	2.36	13.4	25.4	44.8	16.4	3.54	64.7	27.5	5.2	2.6	2.99	39.5	31.6	17.8	11.2	
授業評価	3.44	3.41	3.63	3.66	3.31	3.02	3.18	2.95	3.46	3.43	3.34	3.34	3.65	3.57	3.47	3.60					
4	3.67	74.9	19.2	4.1	1.9	3.46	65.7	20.9	7.5	6.0	3.66	75.8	17.0	4.6	2.6	3.76	80.0	16.7	2.7	0.7	
5	3.70	76.3	19.2	2.9	1.6	3.10	34.3	44.8	17.9	3.0	3.35	60.5	21.1	11.2	7.2	3.68	72.4	23.7	3.3	0.7	
6	3.64	71.6	21.6	5.6	1.2	2.78	21.5	43.1	27.7	7.7	3.00	47.4	21.7	14.5	16.4	3.55	64.0	28.7	6.0	1.3	
7	3.60	69.9	22.2	5.7	2.2	2.79	20.9	47.8	20.9	10.4	3.28	55.6	26.1	9.2	9.2	3.41	55.9	31.6	9.9	2.6	
8	3.71	76.3	19.1	3.9	0.8	3.38	51.5	37.9	7.6	3.0	3.36	53.9	33.6	7.2	5.3	3.60	66.4	28.3	3.9	1.3	
9	3.66	74.1	19.1	5.7	1.1	3.00	31.3	44.8	16.4	7.5	3.35	54.6	30.3	10.5	4.6	3.61	67.8	27.0	3.9	1.3	
10	3.69	73.8	22.2	3.6	0.5	3.00	24.2	56.1	15.2	4.5	3.29	55.6	22.9	16.3	5.2	3.59	66.4	27.0	5.9	0.7	
11	3.70	75.5	19.7	3.7	1.1	2.88	23.9	49.3	17.9	9.0	3.44	62.3	23.8	9.9	4.0	3.60	67.8	25.7	5.3	1.3	
12	3.69	75.3	19.8	3.7	1.1	3.16	38.8	41.8	16.4	3.0	3.43	59.9	27.6	8.6	3.9	3.65	71.5	22.5	5.3	0.7	
13	3.56	66.7	24.5	7.1	1.7	2.78	16.4	49.3	29.9	4.5	3.29	56.9	23.5	11.8	7.8	3.52	59.6	33.1	6.6	0.7	
14	3.62	70.2	22.8	5.7	1.2	2.85	20.9	50.7	20.9	7.5	3.42	61.4	23.5	10.5	4.6	3.62	69.7	23.7	5.3	1.3	
15	3.64	71.3	23.4	3.3	2.0	2.52	16.4	37.3	28.4	17.9	3.39	57.2	28.3	10.5	3.9	3.60	65.6	29.8	3.3	1.3	
16	3.68	72.9	23.0	3.2	0.9	2.68	18.5	41.5	29.2	10.8	3.19	49.0	28.6	15.0	7.5	3.63	69.6	25.0	4.1	1.4	

※自己評価と授業評価  
黄色の帯のところは、過去4年間の推移  
2011年→2012年→2013年→2014年

※A~Dの数値は構成比  
単位は%

No.	設 問	高等学校				中学校					
		評価 A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価 A(4)	B(3)	C(2)	D(1)		
	生徒自身の自己評価	自己評価平均値:3.33 (昨年 3.37)				自己評価平均値:3.20 (昨年 3.16)					
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。	3.52	60.5	32.2	6.4	0.9	3.41	49.3	43.0	6.9	0.9
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。	3.40	53.9	33.8	10.3	2.0	3.37	50.3	38.2	9.7	1.8
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。	3.06	39.9	33.2	19.6	7.2	2.84	30.0	35.2	23.5	11.4
	教員に対する授業評価	授業評価平均値:3.49 (昨年 3.53)				授業評価平均値:3.31 (昨年 3.34)					
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。	3.65	72.2	21.7	4.7	1.4	3.34	53.5	31.8	10.1	4.6
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。	3.58	67.1	25.7	5.3	1.8	3.45	58.3	31.8	6.8	3.1
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。	3.43	59.8	27.1	9.7	3.4	3.32	49.7	36.3	10.0	4.0
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。	3.51	62.7	27.6	7.2	2.5	3.19	45.2	35.0	13.8	6.0
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。	3.58	66.4	27.0	5.2	1.4	3.34	51.3	35.1	9.4	4.1
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。	3.38	56.3	28.9	11.1	3.6	3.35	53.3	33.2	8.9	4.5
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。	3.60	69.9	22.0	6.1	2.0	3.52	61.5	30.5	6.5	1.5
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に答えていましたか。	3.56	64.6	28.4	5.6	1.4	3.36	52.0	35.3	8.9	3.8
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。	3.52	60.8	32.3	5.1	1.8	3.31	48.2	38.3	10.0	3.5
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。	3.61	70.9	21.4	5.8	1.8	3.54	63.5	28.0	7.0	1.5
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。	3.52	62.7	29.0	6.3	2.1	3.41	55.6	32.6	8.8	3.0
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。	3.65	72.6	21.1	5.1	1.1	3.55	65.3	26.1	7.0	1.5
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。	3.48	60.3	29.6	7.6	2.5	3.30	48.1	37.7	10.6	3.5
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。	3.49	63.5	24.8	8.8	2.8	3.29	45.5	40.0	12.0	2.5
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。	3.33	52.4	32.4	11.0	4.3	3.13	38.0	43.9	11.5	6.6
	△担当の先生は、グラウンドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。	3.60	69.8	22.1	6.2	1.8	3.29	48.5	35.5	12.5	3.5
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立たと感じますか。	3.40	55.4	32.5	8.6	3.5	3.27	46.8	38.6	9.7	4.9
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立たと感じますか。	3.54	67.9	22.2	6.5	3.4	3.43	52.5	40.9	4.0	2.5
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。	3.47	59.4	30.7	7.4	2.5	3.25	44.2	41.0	10.4	4.4